

The Structure of Costume Thesaurus (MCD Thesaurus)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-02-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 大丸, 弘, 高橋, 晴子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15021/00004396

服装専門検索語辞書 (MCD シソーラス) の構造

大丸 弘* 高橋 晴子**

The Structure of Costume Thesaurus (MCD Thesaurus)

Hiroshi DAIMARU and Haruko TAKAHASHI

In this paper some ideas on structure of concepts concerning clothing and costume are discussed, and a trial thesaurus proposed. The structural features are follows:

The concepts are framed and thus given their theoretical bases by the "Special Classification Table of Clothing."

No descriptor is selected in this thesaurus. Groups of synonyms are arranged in descending order of appearance. If necessary, the first word can be used, in principle, as a descriptor. In place of descriptors, groups of synonyms are changed to retrieval codes.

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 服装専門分類表の成立経過と構成 | 4. 検索語辞書における概念構成の一般論 |
| 2. 分類表と検索語辞書との関係 | 5. 辞書の具体的構成 |
| 3. MCD との統合における諸問題 | |

1. 服装専門分類表の成立経過と構成

服装, 衣料品関連資料の整理を目的として, われわれが服装専門分類表を考案したのは, 1977年のことであった。それ以前に, われわれは大阪樟蔭女子大学被服学科に, 衣料情報室を開設し, 活動をはじめていた。衣料情報室をつくった目的については, すでに何回かのべているので, 繰り返さない [大丸 1977a, 1977b, 1984: 58-60]。情報室においては, われわれは専門分類表を, さしあたり図書の排架基準として用いた。しかし非図書形態資料, とりわけ情報室では重要な位置を占めるファイリング資

* 国立民族学博物館第5研究部

** 大阪樟蔭女子大学, 国立民族学博物館研究協力者

料については、自然語による辞書体排列を行った。われわれがその時期に、服装専門分類表を作らなければならなかった最大の理由は'77年4月に第1号を刊行した抄録索引誌〈衣料情報レビュー〉のなかでの、文献の排列のためである。この専門分類表については、上記二次資料誌の創刊と同時に、高橋によって発表がなされた〔高橋1977〕。そののち現在まで8年の経過の中で、われわれの資料整理はいくつかのあたらしい環境を経験してきた。そのひとつは当然のことながら、われわれがかかえる資料の蓄積である。〈衣料情報レビュー〉は最近号(1985年12月—No. 18)までに14,320文献を掲載した。この文献数にたいしては、能率的な累積検索の手段をあたえなければならない。また自然語排列を行ってきたファイル資料は、資料自体とあわせて見出し語の無制限な増加と、見出し語と見出し語の関係の非論理性のため、整理者以外が検索することは困難になりつつある。他のあたらしい環境とは、われわれの蓄積してきた資料を、国立民族学博物館のデータベースの一部として利用する、プロジェクトの着手である。このプロジェクトは大丸の個人研究として行われてきたのであるが、その内容は、文献、標本、映像(造形)等の資料形態に共用の検索語辞書を用いての、服装関係資料のアーカイブズの構想である。このような条件にうながされて、われわれはこれまでの服装専門分類表を再検討するとともに、この分類表にもとづいて、服装専門検索語辞書¹⁾の素案を提出するに至ったのである。

表1 旧 分 類 表

服装専門分類表					
flow-step		item		助 記	
A	総 記	P	総 記	1	参 考 図 書
B	消 費・行 政 教 育・情 報	Q	素 材	2	一 般 図 書
C	流 通	R	メ ンズウエア	3	雑 誌
D	デザイン・生 産計画	S	ウイメンズウ ェア	4	新 聞
E	工 学・工 業	T	子 供服・ベビ ー服	5	パ ンフ レット
F	小 売	U	ア ンダーウエア	6	B4 カ ー ド
		V	和 服	7	B6 カ ー ド
		W	ア クセサリー	8	特 殊 資 料
		X	ヘアー・化粧	(0)	歴 史
					地 理

1) 図書館学的に言えば、これは服装専門件名標目表といってもよい。件名標目表と検索語辞書とは歴史的にもおなじものとはいえないが、今日ではこれを強いて区別する必要はないであろう。

なお、本稿で用いている用語のうち、索引語と検索語の関係については、坂本徹朗『情報検索』[坂本 1976: 77-79]の説明が要領を得ている。ただし本稿ではその資料対象の理由から、文献語といういいかたはもちいず、すべて自然語とよんでいる。

以上にのべた経過からして、最初に服装専門分類表の説明をする必要がある。この分類表は、ふたつの面 (facet) の組み合わせ構造になっている。すなわち、服装、衣服に関連する諸概念をふたつの分析枠によってとらえる。分析枠の第1は、衣服の生産から消費への流れ (flow-step) であり、第2は、物としての個々の衣服 (item) である。これに助記を組み合わせるのであるが、本分類表における助記のうち形式区分は歴史区分と地理区分のみで、実際には使用しなかったから、2面のカテゴリーの組み合わせによる、ファセット分類といえる。それ以前のいくつかの服装専門分類表²⁾は、われわれの知る範囲ではすべて一次元分類であった。これはひとつには、博物館的な、即物的な観点からのものの整理の伝統、またその必要がつねに先行したためであろう。したがって今日でも、静止画像的なものとしての服装観が、研究者の間にさえゆきわたっているように認められる³⁾。従来の分類表における分類規準の交錯の主な理由が、分析枠のこの一次元性にあったとみて、われわれは第2の分析枠——衣服の生成と流れ——を提起したのであった。

ところで、対象分野のなかで予想されるあらゆる主題概念を分析的にとらえるため、仮りに2面の分析枠を設けるとして、その2面——ふたつのカテゴリー——の内容の妥当性は、どのようにして保証されるだろうか。分析枠についての一般論、すなわち基本カテゴリーについては、著名な Ranganathan のそれ以後、さまざまな構想が提出されてきたが、それらを集約して森は、(1) personality, (2) 部分, (3) 物質, (4) 運動, (5) 作用, (6) 性質, (7) 操作, (8) 空間, (9) 時間, (10) 構造の10を主張している [森 1957: 26-30]。しかし森をはじめ、分析枠の研究が専ら自然科学、工学技術の領域を対象に議論されてきたためか、これらのカテゴリーは、人文、社会科学の諸分野にとっては、いくぶん抽象的で、比喩的であるように感ぜられる。仮りにわれわれの理解が不十分であったとしても、実際にこれら10面のカテゴリーのなかの、さらにまた相当数のメンバー (面を構成する区分概念) をたがいに相乗して、最終的な複合的主題概念を得るとなると、その分析操作のプロセスにおいて、とくに人文、社会科学分野の場合、かなりの主観的判断のまぎれこむことは避けられないのではないか。ここにおいてわれわれは、われわれの分析枠の客観的妥当性を、基本カテゴリー論に求めることは一応放棄した⁴⁾。

2) 文化女子大学・文化服装学院図書館編『被服に関する雑誌記事索引』、昭和女子大学編『生活美学研究年報』、東洋紡績株式会社社会経済研究所編『繊維文献目録』

3) ものとしての衣服のみを対象とする分類には、微視的で、完璧的な分類表を数えることができる。日本規格協会『JIS用語辞典 VI 繊維編』、通産省『日本標準商品分類』

4) 基本カテゴリーにもとづいての、分析枠設定の方法については、坂本がその手順を具体的にのべている [坂本 1976: 70]。

item の面は、そうした面を設けること自体に異論はないとおもうが、問題は flow-step の面である。このような分析枠を設けることについて、前稿で高橋はつぎのように説明した。

その構想の基本的理念は、服装・衣料品のもつ社会的性格の重視であり、それと関連して、衣服を女の家事の一部としてとらえようとする従来の観念の払拭をはかることであった〔高橋 1977: 369〕。

衣服の生産から消費に亘る諸問題を、現実的、かつ総合的にとらえるには、服装のもつ産業社会的側面が、専門分類基準の不可欠な要素としてとりあげられなければならない。とくに、従来の生産志向的な繊維・衣料産業のとらえ方に対して、流通段階についての、周知的な分析が望まれる〔高橋 1977: 372〕。

われわれの“産業志向的”服装認識は、item 中のメンバー概念にも示される。メンズウェア、ウィメンズウェア、子供服ベビー服、アンダーウェア、和服という区分は、図書分類論的な論理性を欠いていて、その点は本分類表を口頭発表したさいにも、指摘された⁵⁾。この分けかたは図書分類的観点というよりも、産業分類の観点なのである。したがって文献資料の分類にあたっては、和服——子供服ベビー服——アンダーウェア——メンズウェアおよびウィメンズウェアの順に、優先順位がつけられる。こうした分析枠の妥当性についての結論は、われわれはむしろその実用性によって、きめられるべきものではないかと考える。われわれがこの分類表によって文献を整理した〈衣料情報レビュー〉は、まもなく10年を迎える。その間にこの分類の合理性について、二、三の肯定的な意見を耳にしたほか、最近では依頼した著者抄録に、この分類記号をつけて返送してくれる人もあらわれだした。少くとも現在までのところ、それほど根本的な矛盾は、分類作業者の立場からは、みいだされていない。

2. 分類表と検索語辞書との関係

分類表のほかに、索引・検索語の整備が必要となったおもな理由は、まえにのべたように、われわれのかかえる資料量の増加である。そのひとつ、ファイル資料の整理に関する問題を、最初にとりあげる。衣料情報室では最初、B4 と B6 のふたつの形態のファイル資料をもっていたが、前者は主としてパンフレット、リーフレット資料、後者は切り抜き資料の整理にもちいられた。これらのファイルには資料そのものが貼

5) 高橋晴子〈服装関連分野学術情報の機械検索における問題点——Dialog システムを中心として〉日本風俗史学会関西支部1980年4月26日例会。対象の交錯について、柴田実氏（京都大学）より指摘があった。

布, またはバイディングされ, 資料の主題にもとづいて, 専門分類表によって分類, 排列された。これらの資料の殆どには当然, いくつかの副主題が析出されるのであるが, その結果としてファイル数の数倍になる主題概念へのガイドとして, 別に索引カードが作成され, アルファベチカル排列を行った。この主題概念は, 無統制の自然語であり, それがそのまま, 見出し語として用いられたのである。資料の主題分析は高橋, 大丸が行ったから, 主題概念をあらわすことばに, なんらかの統制の意図は反映してはいたはずである。しかし代表語になにをえらぶかということよりも, 概念間の階層, 類縁関係の判断と, その表記法につねに動揺があり, これらの統制がもはや猶予をゆるさぬ問題となってきた。

一方〈衣料情報レビュー〉においては, その No. 15 からはじまって, 紀要論文等の執筆者にたいして, 抄録とともに6語以内のキーワードの提出を依頼した。〈衣料情報レビュー〉はまえにのべたように, 民博のコスチュームデータベースとして入力され, 機械検索が可能となっているが, 主題検索にもちいられるのは, 主として分ちがきされたタイトルと, 上記の, 執筆者によって提出されたキーワードとである。このうち, タイトルにふくまれた単位語については後述するとして, 執筆者のつくったキーワードの, 大体 $\frac{1}{2}$ くらいは, その概念内容があまりに限定的すぎたり, 逆にまた意味が汲みとりにくかったりして, 索引語として必要な一般性を欠いている(表2)。こうしたキーワードが提出される理由のひとつは, 主題概念の野放し状態という, われわれ編集者の側の不用意さとあわせて, キーワードが検索者の能率のためのものという, キーワードについての認識の不足が, いくぶんかは執筆者の側にもあるような気がする。

以上にのべたような状況のもとに, われわれは専門分類表と併用するかたちでの, 専門検索語辞書の作成に着手したのである。われわれの概念構成の基本方針は, つぎのようなものであった。

1. 服装専門分類表にもとづくこと。
2. とりあげる概念は実用的なものであること。すなわち実際に出現したものを尊重すること。
3. すべての資料形態に共通する, 検索語を与えること。

表2 執筆者提出キーワード中, 不適切な例

奇態停滞; 停滞的発展; 対立の排除; Ⅲ類; 朱の丸い印; 大きな違い;
同じ事柄; シャネルと女性の地位向上; シャネルの生い立ち; 基礎技術
の重要性; 高年の男子A型者は最大量; 特大・特小; 範囲価値; 意味;
特徴; 工学

4. 民博のデータベースとしてのぞまれる条件をみたくこと。

これらのうち、本節ではまず、1. について検討する。図書館における件名の歴史——それはほとんど合衆国におけるものであるが——をみれば、実際に購入、排架した図書についてのみの、当該図書館における件名目録が、その発展の中心をなしてきた。これらの件名になんらかの統制が行われたにせよ、図書の増加にともなって件名数がある量を超えると、排列の論理性をもたない辞書体目録では、検索率（再現率）の低下が避けられない。これを救う手段としては、件名だけをリストアップして全体の一覧性を与える方法などもあるが、それでカバーできる件名数にも限りがある。

『Subject Headings』の著者 Pettee は、合衆国における伝統的な辞書体目録の普及の前提としては、分類排架された書架への開架式閲覧という条件のあったことを、指摘している [PETTEE 1946: 160]。すなわち、件名はその主題をもつ図書への、クイックアクセスの方法として実用的であるが、それは一方で分類排架の論理性、および完備した各種の主題書誌の存在に支えられてのことだった、という事実を忘れてはならない。坂本によると、現在の商業データベースにおける、主題概念の整理法の傾向は、大きな区分には分類記号を使い、個々の物質名、装置名、実験条件などは、言葉で記述する、ということである [坂本 1976: 92]。JICST の科学技術分類表も、分類表としての構成はとっているが、第3階層以下は、件名的なとらえかたになっている [日本科学技術情報センター 1981]。

分類表と件名表とを組み合わせる場合、分類はそこでとりあげる概念の全体に、論理的な構造性を付与し、一方件名は、分類法のもつ本質的な分析的傾向に、資料出現の現状にもとづいての歯止めをかけ、より実用的な方向へとたぐりよせるのである。また、かつて金属工学関係文献にたいして、UDC 分類と件名とを併用した谷の場合は、① UDC によって適切な標数を与えうるものは UDC で処理し、それがむずかしいものにたいしては、件名を与える、② 金属加工のプロセスには UDC の標数を与え、その前後の関連プロセスには件名を与えて区別する、という使いわけをした [谷 1973: 258, 261]。この試みにおいても、一方では UDC 分類のみではいかに厳密な標数づけをしても、検索洩れを防ぐのには限界があること、一方では件名のもつ融通性、という点に着目したものである。ともあれ、件名表の前提には論理的な分類体系が必要であって、件名表はその補完以上であるべきではない、という結論はうごかないであろう。

逆の見方でもあるが、その背後に分類的な体系性があるからこそ、件名が現実主義に徹しうる、ともいえる。現に書架に存在しない本の件名は、その図書館の件名表に

はみいだせないのが件名表のたてまえである。たとえば、パリの *Bibliothèque nationale* の件名目録 (*vedette des matières*) は、合衆国の国会図書館の *subject headings*、直接にはこれをフランス語に翻訳した、ケベックの Raval 大学附属図書館の件名表を、そのまま用いているのだが、BN に存在しない本の件名は欠けている、という点が Raval 件名表と相異なるのである。たしかに、ほんらい件名表が論理性を犠牲にして、実用志向に徹する以上 “論理上そこに存在しうる” 主題概念をあらかじめ羅列しておくことは、自己撞着といわなければならない。そこで整理者は、目のまえにおかれた文献を分析して、いくつかの主題となる概念をぬき出すという作業の段階で、横の壁に貼ってある分類表のなかでの、それらの概念の適切な居場所を考えることになるのである。もっと具体的にいうなら、文献中から、現在の検索者にとって、よりのぞましいことばによって主題概念をとらえ、それにつづいて、分類記号にはじまる検索語を、付与するのである。

いうまでもなく、件名の有効性は、分類表へのこのような末端補足的機能にとどまるものではない。件名のもっとも重要な機能は、分類表によって分割された概念——ときにはとび離れたいくつかの枠にまたがる概念の組み合わせを、さししめすことのできる能力である。この場合は、分類表のもつ論理的体系性とは、べつの観点があることになる。服装専門分類表についていえば、その産業志向的な面構造のために、かえって常識的な人文科学系統の概念の居場所がみつけにくい、という難点があった。そのためにそうした概念の多くが、いわば “雑” ということで、総記の中におかれた。こうした事実は、分類表のもつ論理的体系性などといっても、実ははなはだ不完全なもので、その不完全さのゆえに、その体系によっては包みきれない別の観点が、いくらかも存在することを意味するのである。ランガナタンにはじまる基本カテゴリー論の系譜は、あらゆる概念に論理的な居場所を与えるための努力ともいえよう。しかしその結果としての、基本カテゴリーの万華鏡的な多次元交錯が、仮りにすべての概念を完全な体系のもとに総括したとしても、果して整理者や検索者に幸せな結果をもたらすかどうか。その点からいえば、分類区分にかかわらず、交錯的な主題概念をとることのできる、件名の機能は、さきの末端補足的機能と同様、分類表の論理性志向の陥る、非実用的晦渋さを救うものといえよう。具体的にいうと、服装専門分類表において、人文科学系の諸概念をメンバーとする、第3の面 (カテゴリー) を設ける構想もあったのであるが、結局はその組み合わせの複雑さを怖れて、これらの概念は、いくぶん “非論理的” ではあるのだが **AP** (総記×総記) や **DP** (デザイン×総記) 等に配分したのである。

ところで、分類表のもつ論理性とは、とくにその全体としての体系構造にあらわれる。もっと具体的には、その区分肢の展開論理である。件名表がけっして没論理であるわけではない。しかしこの区分肢の展開論理において、件名表ははるかに恣意性をもっている。件名、ないし索引語も、上部概念 (BT)、下部概念 (NT) の、小さな三角構造はもつ場合がある。索引語 (以下とくに断わらないときは件名についてもほぼ同様のことがいえる) がこの三角構造をもつとしても、ある語 W の NT を w_1, w_2, \dots, w_n として、 $w_1 + w_2 + \dots + w_n$ の総和がべつに W となる必要はない。殊に索引語を出現主義でエンターしている場合は当然のことである。分類表の、煉瓦の壁面のような完全分割性からみれば、この点での索引語の構造は、論理的にはたしかにゆるいものといえるだろう。しかしそのために一方で、索引語においては概念の交錯は常態的ともいえて、この交錯の処理——具体的には類縁概念の位置関係を指示することが、検索語辞書に要求される重要な論理性である。したがって検索語辞書のもっと素朴な部分は、言葉のもっともつよい類縁関係、すなわち同義異語をあつめることである。分類表はほんらい概念の構造体であって、ある概念をどんなことばでいいあらわそうと、それはさしあたり問題ではない。分類記号は、概念にたいして付与されるのだから。これにたいして索引語は、検索者にとってもっとも身近な、言葉によって検索できることに大きな特色がある。ペティも、辞書体目録が分類目録とちがう第1の点を、この name による排列である、ということをし、くりかえし強調している [PETTEE 1946: 152, 153]。そのために検索語辞書、すなわちソースといえ、同義語群から代表語をえらび、それを羅列したもの、という誤解さえ生じた。

服装専門検索語辞書においては、これまでの説明とは矛盾するようであるが、同義語群のなかから代表語——索引語をえらんでいない。同義語群の共有する概念は、検

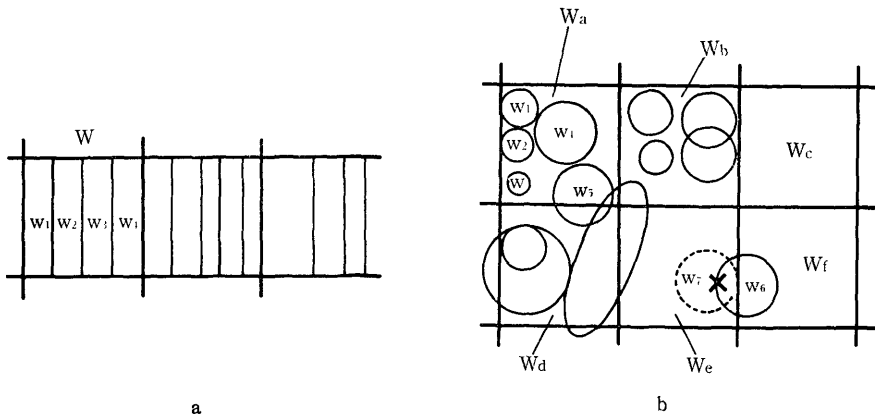


図1 分類法と件名表の概念図

索語である記号 (アルファベット 2 字と 3 ないし 4 桁の数字) に直結する。また類義語への『も見よ』参照も原則的には行わない。これらの詳細についてはのちに説明するが、そうした処置のもっとも大きな理由は、分類表の規模、また検索語辞書における主題概念の数が、それほど大きくないためである。服装専門検索語辞書は、むしろ服装専門分類表の細区分といえないでもない。しかし分類表とはっきり相異なる点は、細分類であればそのパターンが、図 1-a, の如くにあらわされるのにたいして、検索語辞書の主題概念は、図 1-b, のようにあらわすことができ、そこに、より柔軟性に富んだ、キーワードの本来の性質をみてとることができるとおもう。

3. MCD との統合における諸問題

本節では、服装専門検索語辞書の基本方針 (p. 20) のうち、3. すべての資料形態に共通する検索語を与える、という点について述べる。衣料情報室の索引カード、および〈衣料情報レビュー〉のインデックスする資料の、形態としての中心は、図書および雑誌の分解レベル、またはパンフレット、リーフレット資料であって、すべて文献資料である。

しかし服装情報システムの構想が、民博を拠点としての服装関係資料の総合的アーカイブズへと展開するとともに、標本資料および映像 (造形) 資料のもつ、文献とは性質のちがう、とくに細部の情報を、文献探索のための検索システムといかに整合させるかが、困難な課題として姿をあらわした。

この問題を考えるまえに、われわれが今回、検索語辞書の作成のため、直接に利用した既成の検索語辞書 (に該当する資料) を、紹介したい。

- 文献資料 1. 〈衣料情報レビュー〉 No. 1 (1977・4)~No. 10 ('81・12); No. 13 ('83・7)~No. 16 ('85・12)
2. 〈Library of Congress Subject Headings〉 1972, 1974
3. 〈国立国会図書館件名標目表〉 1980
4. 〈OCM-Outline of Cultural Materials〉 1982
- 映像資料 5. 〈Costume Index〉 1937
〈Costume Index: Supplement〉 1957
- 標本資料 6. 〈MCD 標本シソーラス〉 1984

すでに説明したように 索引語の抽出にあたっては、われわれは件名表作成の伝統

をまもり、出現語主義を原則とした。ただしこの原則には例外がある。たとえば、

EP 3. (衣服の保存、手入れに関する主題) の項中に、

- 320 [傷み, 古び一般]
- 321 汚れ (1)
- 322 黄変 (1)
- 323 摩擦 (4)
- 324 経年変化 (2)

という部分がある。「汚れ」以下の概念は、〈衣料情報レビュー〉所収の、文献タイトル中に、実際に出現した例であるが、その中にはたまたま“やぶれ”あるいは“やぶれあな”といった概念がなかった。図書件名表が出現主義に徹せられるのは、収集した図書の内容を、収集した図書からえた件名でインデックスするにとどまっていられるためである。しかしわれわれの場合、対象とする資料は、時代も地域も制限がなく、すべての資料形態にわたって、しかも早急な整理を待つものが山積している。それらを、主として〈衣料情報レビュー〉に出現した、和文文献資料のタイトルにふくまれる概念だけで処理しようとするところに、明らかに無理があるといえよう。件名表作成の伝統に立ち戻るならば、すくなくともわれわれの手許にある、映像資料もふくめた資料の、索引づけがひと通り終了した段階で、そこで得られた索引語にもとづいた、検索語辞書の作成がのぞましい、という見方があるかもしれない。しかしながら、それではその索引づけにあたって、なにをガイドとしたら良いのか、全く白紙の状態、そのときそのときの判断で索引語を与えた方がよいのか。告白すれば、われわれは過去約4年間、全くフリーハンドの索引づけを、欧文文献資料約4,000件(うち3,200件は入力済み—1985・7現在)と、ポジフィルム約40,000点とに対して行い、結局は索引語の非論理性への疑問から、行きづまっているのである。したがって、資料から索引語をみいだすのが先か、そのためのガイドを作成するのが先か、という議論になるうか。

出現語主義という原則は、たしかに一見明快で、実証的であるようにみえる。けれども実際にわれわれがある資料から、主題概念としての索引語を抽出するとき、われわれはけっして“白紙”などではない。その意味では、索引語をひきだす、ぬきだす、という表現も適切ではなく、所詮われわれは、ときとしてさして根拠のたしかではない判断にもとづいて、えらびだしているのである。このような無自覚的な論理にうごかされて作業しているのが現実の姿であるなら、むしろその論理を議論の水面にひきあげるといって、索引語としての一種の調整を加えた方がよいのではないか。

もちろん、この調整が図 1-a のかたちの、固い構造になれば、それは分類表になりおわる。われわれが意図するのはそうではなく、ある上部概念を埋めるべき、概念と概念のバランスともいうべきものである。たとえば図 1-b において、上部概念（あるいは分類枠） W_a, W_b, W_d では、その構成概念 $w_1, w_2 \dots$ が、一応枠内の大きなスペースを埋めている。これにたいして、 W_c, W_e, W_f はそうではない。したがって W_e 中に X という概念内容が出現したとき、それが当然ふくまれるはずの w_7 を示す索引語が辞書中に見あたらなかったために、作業者はうっかりとこれを、不適切な w_6 でインデックスしてしまう、という可能性がある。

この例は、不適切な、あるいは誤った索引化のひとつのケースにすぎないが、作業者の判断に任せられた無統制の出現語主義にたいしては、出現語による概念構造があるかたちをなした段階で、たとえば上の例でいえば、 W_e 中に w_7 を追加する、といった方法での、主として概念の補足というかたちの調整はあってよい。

われわれの検索語辞書の場合にはことに、対象が標本、映像もカバーするのにたいし、出現概念を得る〈衣料情報レビュー〉が、文献のみを対象としているという喰違いもあったので、相当の補足、調整を必要とした。写真 1 のような例のためには、EP 320 の概念が必要となる。

概念の補足のために本辞書で直接利用したのは、689 頁にあげた 2. 3. 5. の 3 種の索引である。2. 3. をえらんだ理由は説明するまでもなからう。5. は、図書館にあらわれた服装関係の図、写真をインデックスした、例の少ない索引書である。直接利用したという意味は、たとえば LC の subject heading に存在する概念は、〈衣料情報レビュー〉における出現概念と全く平等に、同義語群に加え、あるいはそれのみに対しても、実用概念とみなして、検索語（記号）を与えた。さらに、2. 3. 5. にも存在しないが、当然そこに加えられてよい概念というものがある。前述の EP 320 はその例である。ただしここでくりかえし強調しなければならぬのは、“当然そこにあってよい”概念があまりに強調されれば、それはとりもなおさず図 1-a のブロック構造となる。われわれが

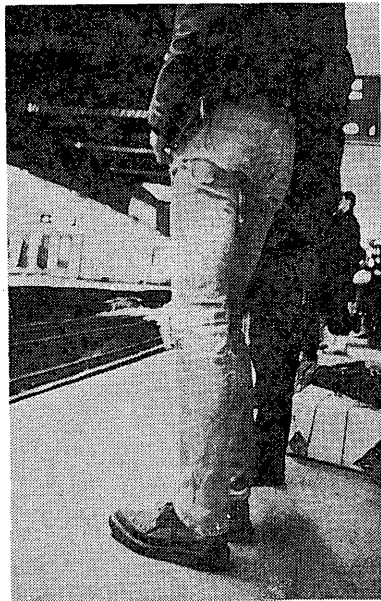


写真 1 裂けた衣服
ロンドン 1985.1

表3 衣服標本属性表

F. 構造技術マーク

- 011. 切りかえに特色あり
- 012. ウエストラインが切りかえ線によって区分されている
- 013. 袖山線に切りかえあり
- 02. まちを用いている
- 03. 縫目に特色あり
- 032. ミシンを用いて縫った箇所あり
- 04. 重ね縫い——全体あるいは一部分で二枚かそれ以上の布を縫いあわせている
接着もふくめる
- 05. ネックオープニングのタイプ*
- 06. カラーのタイプ*
- 07. 袖つけが、セットイン以外*
- 081. 曲線裁ちの部分あり
- 082. 脇線が曲線裁ち
- 083. 肩傾斜あり
- 09. ダーツあり
- 101. 袖山以外にいせ、のぼしあり*
- 102. 袖山にいせあり*
- 111. 袖山・ウエスト以外にギャザー、タック、プリーツあり
- 112. 袖山にギャザー等あり
- 113. ウエストはぎにギャザー等あり
- 12. 布はし（袖口・裾など）の処理・縫いしろに特色あり
- 13. 布をつまみまたはたたんで縫いつけた部分あり
- 14. 布目の扱いに特色あり
- 151. 身頃がうちあわせ
- 152. うちあわせの身頃に留め具あり*
- 16. 形を支持するための別の構造体をもつ

——そして件名の歴史が“出現”に執着してきたのは、このような分類的ブロック構造に拘泥しないところに、しばしばより身近で、より有用な主題概念が得られたためであった。したがって、“当然そこにあってよい”概念についての判断は、いくつかの権威ある資料を参考としつつも⁶⁾、欧文文献、ポジフィルム⁷⁾の分析、および服装情報サービスの、ドクメンタリストとしての現場の経験が優先したのである。

標本資料については、大丸がすでに発表した属性コード表を、そのまま転用するのが当初の計画だった。しかし結果は、712頁に示した**EP 2**項を、属性表**F**項——構造技術マーク（表3）と比較してわかるように、かなり違うものになっている。そ

6) 参照の分類、索引資料はつぎのとおりである。Harmuth, Louis 1921; Huenefeld, Irene Dennington 1967; Gibbs-Smith, Charles Haward 1936; 被服製図編集委員会（編）1978; Nienholdt, Eva; Wagner-Neumann, Gretel 1965; Buck, Anne 1982; 日本図書館協会件名標目委員会（編）1983; 日本ドクメンテーション協会（編）1984

の主な原因は、EP 2 項における諸概念が、その出現頻度だけにもとづいて単純に羅列したのにたいし、属性表の場合は、もともとの根拠はおなじ〈衣料情報レビュー〉なのであるが、これを民博の全衣服標本資料の細部的チェックと並行して、問題点として整理し直したためである。EP 240 以下の出現語をみると、240 表地；241 裏地，裏；242 衽仕立；243 芯地，芯；244 接着芯地となっている。属性表作成にあたって依拠した資料も、ほぼ同じものだったはずである。しかし実際に事例としての標本を手にして、ひとつひとつの言葉を考えはじめると、居敷当や肩当は裏とどう違うのか、見返しはどうか、芯とはどんな機能をさし、どんな機能をふくめないか、などといった議論が百出し、結局、属性表では、F-04. のように、具体的ではあるが、通念的な表現を一切避ける表現をとった。検索語辞書においては、出現語主義というたてまえの占める程度において、いわば突き放した、そういう意味での客観性があり、それはべつの見方をすれば、出現数という事実の下駄をあずけた、一種の無責任さ、ともいえる。まえにのべたように、われわれは索引作業に主観的判断のはいりこむ余地をできるだけ減らす方策のひとつとして、出現概念の分布地図に、多少の調整を行う必要を主張する。しかしそのことと、属性表が検索語辞書と、ここまで別のものになった理由とは違うようである。属性表は標本チェックのためのマークポイントであって、現実に世界中の衣服標本が技術者の手の中にある。その技術的関心が、出現語の“無責任な”羅列を、より納得のできる内容へと、展開させてゆくのである。展開には方向がある。属性表のF項を観察すると、この構造技術マークの構造、のなかには、具体的な関心の方向をしめす、技術の思想がみとめられる。

検索語辞書へ、直接転用を意図して作成した属性表であったが、結果的にはこれはこれで独り歩きをすることになった。しかし属性表から辞書へ、コンピュータプログラム上での記号変換を行うことは、ある程度まで可能である。

標本資料について、技術の思想といったのであるが、映像資料についてもまた、言語的概念とはべつのも、意味構造があるはずである。この領域に関しては、コンピュータによる図形認識が、重要な課題のひとつとなると思うが、われわれにとって経験の乏しい分野であるので、将来の課題としたい。映像（造形）資料の索引として利用した〈Costume Index〉は、その製作にあたって服装専門家の直接関与がほとんどなかったらしく、いわゆる研究者の二次資料ではなく、ドキュメンタリストの二次資料であったせいもあってか、広範囲に利用されたようである。しかし利用対象が公共図書館を利用する、おそらくハイスクールの生徒が中心、ということもあって、われわれがそこから得なければならなかった主題概念は、それほど多くはなかった。

OCMの扱いは、われわれの検索語辞書においては、以上の資料とはいくぶん違っている。われわれの基本方針の中に、4. 民博のデータベースとしてのぞまれる条件をみたくこと、という項目があるが、(686頁) OCMの扱いは、その方針に沿うものである。

OCMの衣服に関連する項目は、28, 29, 30, とりわけ29の clothing に集められている。いまその29の中での概念の並べかたをみると、たとえば291 normal garb をさらに細区分して、

- 01 nude and covered parts of body
- 02 services of clothing (e.g., protection, vanity, modesty)
- 03 standard costume
- 04 age and sex differences
- 05 seasonal variation
- 06 styles and fashions
- 07 description of individual garments
- 08 means of attachment and suspension (e.g., belt)
- 09 headbands

の如くにする。この概念構成がどんな見方からしても、normal garb という上部概念の、ブロック分割的な分類でないことはあきらかであり、民族誌的な調査、研究の実体験から生まれた、その意味においては広義の出現主義によった、件名法である。われわれはこうした特殊な観点をもつ概念構成を、LCや国会図書館件名表のような没個性的な一般件名表、また服装専門検索語辞書のような、これは全く別の観点にしたがった専門件名表の概念と混用することに、多少の躊躇を感ずる。そこで、OCMの概念を服装専門検索語辞書に直接利用することは断念し、しかし辞書の検索語記入とは別個に、OCM 記入を行うこととした。尤も、OCMの服装関連概念のほとんどは、実際には検索語辞書の概念のうちのどれかと共通している。したがって辞書中に、ある同義語群の最後に OCM の標数と索引語を加えておけば、索引作業においてはほとんど自動的に OCM 記入を行うことができる。

例 **DP 019** 製品開発；新製品；**176 innovation**

なお、この例が示すように、われわれがいう共通する概念とは、必ずしも28～30項中のみあるわけではない。服装を物質文化の中の一領域としての近視眼的なとらえかたをするのではなく、社会、文化的事象のあらゆる問題との、相関の可能性を、われわれは前提とする。とすれば、逆説的ではあるが、コスチュームデータベースを利用

する検索者にはむしろ、29項は不必要とさえいいうるかもしれない。

4. 検索語辞書における概念構成の一般論

概念の類縁関係の表記法についての一般論を、ここに論ずる必要はないと思うから、本節では、われわれの検索語辞書の、直接の基盤となるべきシステムを、検討する。

概念の類縁関係の表記、とくに参照のありかたは、その検索語辞書の規模と、検索者の能力をどのあたりに設定するかで、変わってくるものである。その点の考慮のうえでわれわれが参考としたのは、〈Costume Index〉であった。

件名法は分類法とはちがうが、それにもかかわらず、件名も局所的な分類構造、すなわち BT と NT とでかたちづくられる三角構造をもつのがふつうであり、有用であることが多い。しかしこの局所分類構造も、あまりに多用し、また複雑なものとなると、かえって件名の概念列自体の“非論理性”が問題となって、件名法の長所が崩れてしまう危険がある。服装関係資料を豊富に所蔵している、パリのフォルネイ図書館の件名目録の場合、その見出し語以下の構成は、つぎのようになっている。

A (見出し語—item) + B, C… (限定語) + X (地理区分) + Y (時代区分)

問題は限定語 B, C…であって、見出し語が必ずしも item とはかぎらず、限定語の中にも服装の種類を示す概念があるので、その判断の必要のために、検索能率が落ちる結果になる [高橋 1981: 24, 25]。

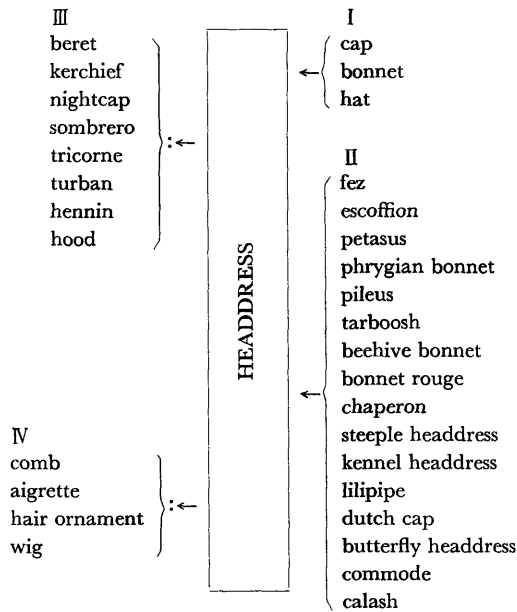
この点〈Costume Index〉の場合、原則として見出し語の NT は、地理区分と歴史区分のみであるため、はるかに検索能率はよい。NT を作っている例外は、Fancy and stage costume (NT は character), Doll (同 character), Military costume (同部隊), Monks (同 sect), Biblical costume (同 character), Archbishops (同 sect), Dancer (同 tribe), Ecclesiastical costume (同 church), Musician (同 tribe), Naval costume (同 特殊グループ), Shakespearian costume (同 character)のみである。これらを見ると、Naval costume 以外の NT はすべて固有名詞であり、Naval- の場合も、Naval Reserve, Nurse corps など、きわめて特殊なものである。すなわち〈Costume Index〉の局所三角構造は、その下位区分を総括する、上位の普通名詞 (doll, dancer など) の方が周知性がつよく、検索者がそれを経過して個々の character に到達することになんの問題もありえないような、ごく少数の見出し語にかぎられている。

それが見出し語に存在するのか、あるいは他の見出し語の NT に入っているのか、

という迷いは、検索者にとってはつねに迷惑なものであり、また『を見よ』参照の増加の原因となる。服装専門検索語辞書では、原則として索引語の NT はできるだけ避けるようにつとめた。そしてその例外も〈Costume Index〉とおなじく、索引語を経由して検索されることが自明の、固有名詞にかぎった。尤もこの区別は、図書形態の辞書と、機械およびカード検索とは扱い方がちがうわけである。機械およびカード検索では、BT も NT も同じ水準にならぶので、たとえばカードを検索するとき、紳士服メーカーも、その NT のメルボ紳士服も区別なく、辞書体排列であればそれぞれ S, M, 部分に並ぶ。ただし紳士服メーカーのカードにおいては、NT であるメルボ紳士服への、『を見よ』が記入される。

つぎに、類縁概念の参照関係についてのべる。〈Costume Index〉における参照法を、Headdress を中心において整理すると、表4のようにあらわすことができる。Headdress を囲む類縁語は、これを I.~IV. の4群にわけることができよう。I. は同義語群である。これらは単純に headdress へ『を見よ』参照される。ただし、ここでいう同義語とは、索引語整理上の同義語であって、共通の資料をインデックスすることが便利である、という意味である。II. は、これも一種の同義語なのだが、headdress の中の、地理+時代区分への『を見よ』参照である。これは三角構造のところ

表4 〈Costume Index〉における類義語の参照構造



(注 ←『を見よ』参照, :←『も見よ』参照)

でのべた、ある普通名詞の NT である方が、一般的知識からみて検索能率のよいような、特殊な固有名詞と同様の場合である。このグループは、〈Costume Index〉の利用者の条件から想像して、こうしためづらしい固有名詞から検索する人は少ないと、判断されたものであろう。III. は Headdress にふくまれる、NT 的な概念への『も見よ』であって、一部は相互参照になる。図 1-b でいうなら、 W_a から、 $w_1 \sim w_5$ への参照である。IV. は、Headdress の NT 性もいくぶんかはもちつつ、また他の BT の NT 性ももつという、いわば従兄弟的關係であって、図 1-b の W_a と w_5 、あるいは W_e と w_6 の如き関係である。

以上の参考事例を勘案しつつ、われわれは服装専門検索語辞書のもつ条件を、あらためてつぎの如く確認した。

1. すべての概念が、ファセット分類の論理的構造の中で、枠づけられていること。
2. 資料の形態が、文献、標本、映像（造形）にまたがっているので、概念の同義語性は、比較的ゆるいものにしておいた方が、実際的であること。
3. 全検索語数は、約2,000でいどにとどめること。ただし固有名詞は別である。
4. 検索は原則として、端末、カード方式とも、専門検索者または研究者が行うこと。

このような立場から、われわれは辞書の作成に手をつけたのであるが、次章において、その具体的構成をのべる。

5. 辞書の具体的構成

われわれの作業は、8年間用いてきた服装専門分類表の見なおしからはじまった。この分類表への批判のなかで、item 面の各メンバー概念に交錯があるという指摘のあったことは、前述したが、それは区分に優先順位をつけることで解決される。われわれが当初衣服の TPO 別を顧慮しなかったのは、このような区別は衣服がもともっている性質ではないので、分類作業者を迷わせるわりには、服装研究上それほど有益ではないと、判断したのである。しかし“物”を離れた服装研究の方面からいえば、着用目的や着用者の問題は、もっと尊重されねばならないということを、われわれの経験は教えてくれた。それはあるいは、家政(工)学的衣服研究から、民族学的、ないし人間論的服装研究への、研究動向の一般的展開を、われわれが感じとったためかもしれない。これまでの分類表でも、**R**~**U** 項は着用者と TPO にかかわるメンバーだったのだが、新しい分類表では **U** 項をとくにその関連概念全般にあてた。かつ

U 項は、これをそのような概念グループのためにふりむけた、もっとも大きな動機を考慮し、着用者、着用目的の個々の概念は、ほぼ完全に、OCM に準じている。

Y 項は新しく設けた項目で、flow-step 面のすべてに亘り、その機能のための広義のツールをここに入れる。**E**—製作プロセス一般と組み合わせさせた **EY0** 項では工場を、**D**—イラストレーションと組み合わせさせた **DY0** 項ではポスターカラーや筆を。こうして改められた item 面は下記のとおりである。

P 総記

Q 布地

R メンズウェア

S ウィメンズウェア

T 子供服・ベビー服

U 衣服の種別

第1区分 衣服の形態・着装部分

第2区分 着用者

第3区分 着用目的—TPO

V 和服

W 装身具

第1区分 装身具一般

第2区分 宝飾品

第3区分 からだ、衣服に補助的につけるもの

第4区分 かぶりもの、髪飾り

第5区分 手に持つもの、はめるもの

第4区分 はきもの、脚につけるもの

X ヘア、化粧

Y 設備、装置、機器、用具、薬品等

つぎに flow-step 面であるが、このメンバー列にはとくに大きな変更はない。ただし、これまで思想、美学、倫理、社会といったものがほとんど **AP** 項にいれられ、投げこみ箱化していた状況から免れるため、これらをできるだけ **D** 項にまわし、そのために **D** 項を5区分した。

A 総記

B 流通をコントロールする機関

第1区分 消費者運動に関連するもの

第2区分 行政, 法規, さまざまのかたちの社会的強制力

第3区分 教育—女性の職業教育との関連で, 女性問題はここにいろいろ

第4区分 情報—情報機関, 研究組織, 博物館等

C 流通

第1区分 流通一般, 景気, 物価など, 国家的な, あるいは業界規模の経済問題

第2区分 企業経営一般, 労働問題—製造, 小売業等に区分されないもの

第3区分 中間流通

第4区分 物流—運輸, 倉庫

第5区分 貿易, 国際関係—商業以外の文化的交流もふくめる

D デザイニング

第1区分 デザイニングシステム, 技法 (衣服の場合, 型入れ以後は **EP3** にいろいろ)

第2区分 美, スタイルの原論的研究, 心理, 習俗, 象徴論

第3区分 身体に関する研究, 運動, 体型, 生理, 環境的条件, sexology

第4区分 着装の態様, 生活と衣服

第5区分 プレゼンテーション

E 生産技術, 工業

第1区分 製造工程一般—既製服はここにいろいろ

第2区分 布の表面的特性—織り, 染め, 色, 模様, ステッチなどの加工

第3区分 立体構成のための技術

第4区分 保存, 手入れ

第5区分 製造業—業種と個別企業名

F 小売

第1区分 小売業一般・経営システム, マーケティング, 業種と個別店舗名

第2区分 販売技術

このようにして決定された, 新しい専門分類表を, その枠構造のみから示すと, 表5のようになる。flow-step と item を組み合わせて, たとえば **DT3** であれば, そこには子供服の着方に関する資料を, 排列することができる。ときとして, いくつかの区分をまとめて組み合わせているのは, 資料数または出現概念数が少ないためである。ひとつの枠, たとえば **DV3** の中には, 00から99までの概念が収容でき, 必要に応じて小数点以下で細区分も可能である。

分類表の見直しを終えたわれわれのつぎの作業は, これら全部で248の枠目の中に,

表5 新服装専門分類表の枠構造

ITEM	FLOW-STEP	A	B			C				D				E				F																
		総記	消費者問題	行政・法規	教育	情報	経済・流通	一般	経営・労働	中間流通	運搬・倉庫	貿易関係	国際	国内	技術	デザイン	システム	美論	心理	生理	環境	着衣	装生	法	活	プレゼンテーション	製造工程一般	表面特性	立体構成技術	保存・手入れ	製造業	小売業一般	システム	販売技術
P	総記	0	0	1	2	3	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	
Q	布地	0	0	1	2	3	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	
R	メンズウェア	0	0	1	2	3	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	
S	ウィメンズウェア	0	0	1	2	3	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	
T	子供服	0	0	1	2	3	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	
U	衣服の形態	0	0	1	2	3	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	
	着用者の目的	1 2	4	5	6	7	5	6	7	8	9	5	6	7	8	9	5	6	7	8	9	5	6	7	8	9	5	6	7	8	9	2	3	
V	和服	0	0	1	2	3	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	
W	装身具一般	0																																
	宝飾品	1																																
	身体に補助的につけるもの	2	0	1	2	3	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	
	かぶりもの	3																																
	もちもの	4																																
はきもの	5																																	
X	ヘア, 化粧	0	0	1	2	3	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	
Y	設備, 装置, 機器, 用具, 薬品	0	0	1	2	3	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	2	3	4	0	1	

出現概念を“置いてゆく”ことであった。いうまでもなく、われわれが手にしている出現概念は、服装専門分類表を念頭においてつくられたものではない。またもし、これらの概念のすべてが、分類枠のなかに、整然とはめこまれるようであれば、索引語としての意味もない。ある概念は、その大部分は **DV3** に比定されながら、同時に **DV2** や、**BV3** にも関係しているかもしれない。われわれはその概念が、**DV3** に足がかかっていると見て、その検索語を与えるのである。“置いてゆく”といういいかたをしたのは、その意味である。

ところで、この段階で確認しておかねばならないことは、今回われわれが利用した出現概念は、じつはキーワードとしては、それほど信頼度の高いものではない、という点である。

LC 等の利用資料を別とすれば、われわれが依拠したのは、既述 (685 頁) のような範囲での、〈衣料情報レビュー〉のタイトル中の概念と、執筆者の送ってきたわずかなキーワードである。

タイトル中の概念については、1985年4月までに入力済みの6,000論文から、頻度順の出現単語を検索したところ、“の”(5,733)にはじまる、約40,000語を得た。漢字では“研究”(498)が最高であった。この40,000語の%は頻度1であったのでこれは捨て、頻度2以上の語のなかから、想像力の可能なかぎりの広範囲に、服装関連概念として使えそうな、1,284語をぬきだしたのである。問題は、なにをもって“語”とよぶか、である。いま仮りにファッションデザインという語がでてきたとき、これはファッションでも、デザインでも、またファッションデザインでも、いずれも重要な服装関連概念となることができる。しかし索引作業者のしごとは、この場合ここから3個の概念をとりだすことではなくて、執筆者がどの概念を用いようとしたかの、意図を知ることである。その意図が理解できれば、分ち書きの切り方も答えが得られる。したがってタイトル全体が示している、執筆者の意図を分ち書きにも示そうというのであれば、2文字で切るとか、1文字は切り離さないとかいう、機械的法則は避けなければならない。しかし現実には作業者にそこまで要求するのは酷であるから、そうであれば、語は短かく切って入力した方が、検索の時間的能率は低下しても、再現率は高まるであろう。

一方今回のわれわれの作業にとっては、この、ほとんどが2語単語に分断された概念は、はなはだ扱いにくかった。標準と寸法とが別々に頻度数にあらわれる。標準などという語は、どんな語とも結びつく、しかし標準寸法となると、これは重要な特殊概念である。結局われわれは、多くの疑わしい2語単語について、原論文の書誌記述

を検索して、そのほんらいの概念をたしかめる努力はしたが、十分だったとはいえない。そのような事情から、検索語辞書の（ ）内の出現数は、あくまでも概数である。

それぞれの枠内におかれた概念は、まず同義語にグループわけされた。ここでいう同義語とは、検索者の目的に沿った、あるゆるい範囲のなかに入れ得るもの、ということである。検索語辞書を作ることは国語辞典を作ることではないので、いたずらな厳密主義は、検索者にとってなんの利益にもなるまい。これらの同義語は、すべて検索語に導かれる。原則として、われわれは代表語の必要をみとめない。ただし、カードの辞書体配列の場合、資料のファイルは検索語の記号・数字順で配列し、索引カードを辞書体で別につくる（衣料情報室の当初の方法）ことは、整理者にとってワンプロセス余分の手間を要するのと、固有名詞の検索において、検索者にも面倒なことから、よい方法を検討中である。

NTを展開させることに関しては、われわれは消極的である。コスチュームデータベースの検索の場合、時代、地理区分、助記（資料の外的形式）、OCM、使用言語、等は別項に入力され、相乗検索が可能なので、その点のNTは不必要である。服装関係ではとくに固有名詞（デザイナー名、ブランド名、商品名、企業名など）が重要であるが、それはたとえば該当普通名詞 **EP 302**（アパレルメーカー）の下に、**EP 302.0**と、.0によって指示する。

なお検索数字と、概念群のあいだに、・を付したものは、ユニタム検索のための要素概念⁷⁾であって、そのほとんどは抽象語であり、ここには独自の資料は排列されない。

必要な概念であると考えられるにもかかわらず、たまたま出現しなかった概念にたいしては、[]内にアスペクトを示し、その検索語をつくった場合が少数ある。出現主義と、論理性志向のジレンマについてはすでにのべたが、こうした措置をしたことの理由のひとつは、上記のような理由から、〈衣料情報レビュー〉の検索による出現語に、最終的な信頼がおけないこともあった。[]内のアスペクトは、出現語だけでは意味がはっきりしない場合もあれば、つまりほんらいのアスペクトとして、用いた場合ももちろんある。

参照関係についていえば、〈Art Index〉における、I.（同義関係）はすでに説明した。II.（固有名詞、あるいはきわめて特殊な普通名詞を、別の検索語の中のNTに導く）は厄介な問題である。われわれはまえに、検索語辞典は国語辞典ではない、と

7) 要素概念という言葉は耳馴れないかと思うが、これは高橋達朗がいう単純概念にあたるものである [高橋 1969: 34-36, 61-68]。

いった。それとあわせてここで、検索語辞典は、百科事典、ないしは専門語辞典でもない、といわざるをえない。われわれが検索者にあるていどの専門家を求めるのは、検索者が他の適当な二次資料を併用できる能力を期待するためでもある。III. (NTへの『も見よ』参照) 本検索語辞書では、“NT あり”の記号を付すること、また企業名等については、既述のとおり、.0の検索を習慣づけるとよい。IV. (類縁語への『も見よ』参照) なにが類縁であるかの判断は、検索者が専門家であれば、あるていどは任せられるものである。服装検索辞書の場合、ともあれ分類表の論理的構造の中にいるのであるから、辞書をできるかぎり一覧性にちかいかたちで、端末、あるいはカードキャビネットの近くに備えつけておけば、この種の参照がなくても、それほど不親切とはいえないであろう。そのために、各枠内の——たとえば DP 3——概念群は、大体似たものを近いところに集めた。番号が飛び飛びになったのは、そのためである。しかしそれが可能だということは、辞書のスケールの問題である。全体で約2,000概念というスケールであれば、検索者が分類枠のストーリーを追って、類義語を探すことは、それほどの手間ではないとおもう。

検索語辞書は対象とする資料の自然増ともなっていて、次第に語数をふやしてゆくものである。表6として末尾に提示するものは〈衣料情報レビュー〉の過去8年の実績を中心としての、現在における検索語の構成案である。

謝 辞

本稿の執筆にあたっては、とりわけ本館情報管理施設の皆さんに、なにかにつけてお世話になった。文献の分ち書きに関しては、文献図書係の松沢裕子氏にお教えいただいた。またNCCの瀧山光男氏、山田正博氏にも、お忙しいところ、たびたびご面倒をおかけした。なお〈衣料情報レビュー〉の編集発行までをふくめれば、大阪樟蔭女子大学の学園当局、卒業生たち、とくに中島馨子さんの協力も忘れることはできない。

文 献

Buck, Anne

1982 *Waffen-Und Kostumkunde*. München: Deutscher Kunstverlag.

大丸 弘

1977a 「資料構成論の前提としての大学における服装教育の検討」『大阪樟蔭女子大学論集』14: 73-85。

1977b 「服装教育の方法論的課題」『衣生活研究』4(5): 10-15。

1984a 「服装情報サービスの10年——MCD への過程——」『衣生活研究』101: 58-61。

1984b 「衣服標本属性論——MCD 標本シソーラス——I 固有属性」『国立民族学博物館研究報告』9(3): 533-570。

GIBBS-SMITH, Charles Haward

1936 *Costume Bibliography of V. & A.* London: Victoria & Albert Museum.

HARMUTH, Louis

1921 *Fairchild's Illustrated Women's Wear Code.* New York: Fairchild Publishing Co.

被服製図編集委員会(編)

1978 『JIS による被服の製図と用語集』森北出版株式会社。

HUENEFELD, Irene Pennington

1967 *International Directory of Historical Clothing.* Metuchen, N. J.: The Scarecrow Press Inc.

衣料情報室(編)

1977 『衣料情報レビュー』No. 1 大阪樟蔭女子大学衣料情報室。

『衣料情報レビュー』No. 2 大阪樟蔭女子大学衣料情報室。

1978 『衣料情報レビュー』No. 3 大阪樟蔭女子大学衣料情報室。

『衣料情報レビュー』No. 4 大阪樟蔭女子大学衣料情報室。

1979 『衣料情報レビュー』No. 5 大阪樟蔭女子大学衣料情報室。

『衣料情報レビュー』No. 6 大阪樟蔭女子大学衣料情報室。

1980 『衣料情報レビュー』No. 7 大阪樟蔭女子大学衣料情報室。

『衣料情報レビュー』No. 8 大阪樟蔭女子大学衣料情報室。

1981 『衣料情報レビュー』No. 9 大阪樟蔭女子大学衣料情報室。

『衣料情報レビュー』No. 10 大阪樟蔭女子大学衣料情報室。

1982 『衣料情報レビュー』No. 11 大阪樟蔭女子大学衣料情報室。

『衣料情報レビュー』No. 12 大阪樟蔭女子大学衣料情報室。

1983 『衣料情報レビュー』No. 13 大阪樟蔭女子大学衣料情報室。

『衣料情報レビュー』No. 14 大阪樟蔭女子大学衣料情報室。

1984 『衣料情報レビュー』No. 15 大阪樟蔭女子大学衣料情報室。

『衣料情報レビュー』No. 16 大阪樟蔭女子大学衣料情報室。

1985 『衣料情報レビュー』No. 17 大阪樟蔭女子大学衣料情報室。

『衣料情報レビュー』No. 18 大阪樟蔭女子大学衣料情報室。

LIBRARY of Congress

1975 *Library of Congress Subject Headings.* 8th edition. 2 vol. Washington: Subject Cataloging Division—Processing Department, Library of Congress.

MONRO, Isabel and Dorothy E. COOK

1937 *Costume Index.* New York: The H. W. Wilson Company.

森 耕一

1956 「主題の多面性——最近における分類法の発展——」『図書館学会年報』3(1): 43-52。

1957 「面に関する研究 I——物理学の場合——」『図書館学会年報』4(1): 19-31。

MURDOCK, George P. et al.

1982 *Outline of Cultural Materials.* 5th edition. Human Relations Area Files, Inc.

NIENHOLDT, Eva and Gretel WAGNER-NEUMANN

1965 *Katalog der Lipperheideschen Kostumbibliothek.* Berlin: Verlag Gebr. Mann.

日本ドクメンテーション協会(編)

1984 『UDC: 国際十進分類法』日本ドクメンテーション協会。

日本科学技術情報センター

1981 『JICST 科学技術分類表』日本科学技術情報センター。

日本図書館協会件名標目委員会(編)

1983 『基本件名標目表』第3版 日本図書館協会。

PETTEE, Julia

1946 *Subject Headings: The History and Theory of the Alphabetical Subject Approach to Books.* New York: The H. W. Wilson Co.

坂本徹朗

1976 「情報検索」『日本図書館学講座』9巻 雄山閣出版。

大丸・高橋 服装専門検索語辞書 (MCD シソーラス) の構造

高橋晴子 (翠)

1977 「服装専門分類表の試み——大阪樟蔭女子大学衣料情報室の場合——」『ドクメンテーション研究』27(8): 369-374。

1981 「フォルネイ (Bibliothèque Forney) およびパリ市内の図書館, 資料室における服装関連資料」『図書館界』178: 24-30。

高橋正明

1970 『科学技術情報の検索方法』東洋経済新報社。

高橋達朗, 広田広三朗, 坂本徹朗

1969 『情報検索の手法と機器』南江堂。

谷 昌博

1973 「主題索引付けの指標に UDC 分類とキーワードを併用する方法 (金属工学文献を実例として)」『ドクメンテーション研究』23(8): 257-263。

WILLIAMS, James G., MARTHA L. MANHEIMER and Jay E. DAILY

1972 *Classified Library of Congress Subject Headings*. Vol. 1 Classified List: p. 250; Vol. 2 Alphabetic List: p. 486. New York: Marcel Dekker Inc.

表6 服装専門検索語辞書 (MCD シソーラス) '85

AP0		020	賠償(2)
000	◦衣服(141);被服(184);アパレル(148);衣(112);衣料(87);ウェア(79);衣料品(59);衣裳(46);服(30);衣装(13);コスチューム(7);衣類(2);ガーマント(2);服装(80);服飾(130);着衣(14);装い(4);よそおい(2); 29 clothing; 30 adornment	021	752 bodily injuries
001	◦衣生活(12);衣生活態度(1);衣食住(1)	031	商品テスト(1)
002	◦ファッション(237);モード(11);ファッション行動(1);ファッション性(1);*ファッション;*fashion	032	使用テスト(1)
003	◦流行(34)	033	テスト機関(14);商品テスト機関(2)
004	繊維品(12);繊維製品(10);*繊維品	034	消費生活センター(4);生活科学センター(2)
005	縫製品(13);二次製品(2)	035	消費者情報(3)
006	工芸品(2)	040	*家計
007	民芸(3)	BP1	
010	服装研究(2);被服学(16);衣服研究(2)	100	〔衣服に関する行政, 法律一般〕行政(10);政策(22);制度(29);立法(2);条例(2); 67 law
011	◦〔理論〕思想(5);衣服観(1)	101	規制(6);衣服規制(2);服飾禁令(2);*sumptuary laws
012	◦歴史(45);変遷(49);服装史(18);系譜(16);推移(13);服飾史(11);変遷史(6);文化史(5);被服史(4);歴史的考察(4);歴史的展開(2); 17 history and culture change	102	統制(2)
013	◦起源(14)	103	服制(3);有職(2);*regalia
014	〔ファッションについての理論, 法則〕	104	703 discipline and moral
BP0		105	*heralds; *heraldic costume
000	◦消費(50)	110	独禁法(2)
001	◦消費者(116)	111	品質表示法(2)
002	消費者問題(5)	140	専売(2)
003	消費者運動(2)	141	特許(4)
004	消費者教育(5);*consumer education	142	◦登録(4)
005	〔協同組合〕*consumers' league/cooperation	143	◦規格(3)
006	〔消費者団体または組織〕	144	JIS(18);JIS 衣料サイズ(1)
007	〔消費者行政〕	150	通産省(5)
010	消費科学(2)	151	地方自治体(4)
015	苦情(18);消費者苦情(1);苦情行動(1)	160	衣料管理士(2)
016	苦情処理(4)	BP2	
017	〔消費者の被害〕被害(2);トラブル(2)	200	◦教育(73); 87 education
018	公害(2)	201	〔教育の制度, 組織〕 871 educational system
019	環境汚染問題(1)	202	服装教育(2);被服教育(4)
		203	デザイン教育(2)
		204	色彩教育(1)
		205	被服整理教育(1)
		206	〔裁縫教育〕被服実習(2);*needlework-study and teaching
		207	◦実習(13)
		208	家庭科教育(5);家庭科(32)
		210	〔技術教育〕*technical education
		211	〔職業教育〕ビジネス講座(2);*vocational education; 874 vocational edu-

- cation
- 213 女子教育(4)
- 215 小学校(1)
- 216 中学校(1)
- 217 〔高等学校〕
- 218 短期大学(3)
- 219 〔大学〕
- 220 女子大学(3); 女子大(3)
- 221 裁縫学校(1); *sewing school
- 225 家政学部(2); 家政科(2)
- 226 家政(5)
- 230 〔社会教育〕
- 231 〔家庭教育, 家庭でのしつけ〕
- 232 〔日常生活, 清潔, 性のしつけ, 訓練〕
515, 863 cleanliness training; 864 sex training
- 233 〔道徳教育〕 *moral education
- 240 教員(3)
- 241 教育実習(1)
- 242 教授法(2)
- 243 カリキュラム(4)
- 244 教材(39); 教材研究(5)
- 245 教科書(3)
- 246 学習意欲(1)
- 247 学習効果(1); 指導成果(1)
- 248 グループ学習(1)
- 249 実験授業(1)
- 250 男女共修(1)
- BP3
- 300 ◦ 情報(29)
- 301 〔情報システム〕
- 302 〔情報機関〕
- 303 海外情報(1)
- 305 〔整理法〕
- 306 分類(1); 分類尺度(1)
- 307 用語(4); 語源(1); 104 glossary
- 308 名称(2); 各部名称(1)
- 309 字典(11)
- .1 日本語
- .2 英語
- .3 フランス語
- .4 その他の外国語
- .5 多国語
- 310 〔書誌, 目録〕 11 bibliography
- 311 カタログ(4)
- 312 ダイレクトリー(2)
- 313 遺産目録; 428 inheritance inventory
- 314 統計(15)
- 315 ランキング(24)
- 325 〔情報ストック施設〕 資料館(3)
- 326 図書館(2)
- 327 博物館(27); ミュージアム(8); *costume museum; 368 museum
- 328 美術館(14)
- 329 〔コレクション〕プライベートコレクション(11); *costume-private collection; *needlework-collection and collecting
- 330 研究所(3)
- 331 〔博物館学, 技術〕 *museum techniques
- 332 〔資料収集〕 収集(3)
- 340 〔資料編, 研究法〕多変量解析(2); 計量分析(2); クラスタ分析(1); コンピュータ解析(1); 12 methodology
- 341 〔資料としての文献あるいはこれに準ずるもの〕
- 342 〔資料としての造形・映像作品〕美人画(12); 服飾絵画(1); *costume in art; *photography of the nude
- 343 〔標本資料, 遺品, 新発見資料〕
- 350 〔調査法〕
- 351 ◦ 調査(149); 調査研究(8); 調査レポート(4); 実態調査(16); 現地調査(2); 面接調査(1)
- 352 ◦ アンケート調査(2); アンケート(1)
- 353 意識調査(16); *世論調査
- 354 ◦ 〔市場調査〕 *market surveys
- 360 *マスコミュニケーション
- 361 広告(8); CM(2); *宣伝; *広告; *広報; *PR; *447 advertising
- 362 〔販売拡張〕 446 sales promotion
- 363 ポスター(1); *posters/advertising
- 364 DM(2)
- 365 表示(15); 取扱表示(1)
- 366 絵表示(6)
- 370 雑誌(2); 服飾雑誌(1)
- 371 〔新聞の服装記事〕*newspapers-sections, columns
- 372 *ミニコミ
- 380 〔学術団体, 学会〕 家政学会(2)
- 381 〔研究分野〕 家政学(21); *home economics
- 382 ◦ 研究会

- 383 ◦ シンポジウム
 390 技術交流(3)
 391 ◦ 前年比(3)
 392 ◦ 相関性(5)
 CP0
 000 流通(45); 繊維流通(2); 物流(5)
 001 流通機構(2); 流通過程(2); チャンネル(2)
 002 [流通の合理化] 流通システム化(2)
 003 ◦ 経済(23)
 004 物価(3)
 005 景気動向(2); 景況(9)
 008 不況(15); 繊維不況(2); 大恐慌(1); 反動恐慌(1)
 009 季節変動(1); *clothing trade-seasonal variations
 010 インフレ(3)
 011 石油危機(1)
 020 ファッション産業(12); ファッションビジネス(2)
 022 ◦ 業界(111)
 023 [業界の組織]
 024 会議所(2)
 025 カルテル(3)
 026 垂直統合(2); 垂直的統合(2)
 027 川上(4)
 028 川下(2)
 029 金融(5); 金融政策(1); 地方銀行(2)
 030 構造改善(17)
 041 繊維取引(2)
 042 需給(19); *supply and demand
 043 消費動向(1); 繊維消費(2)
 044 需要(18); ニーズ(10); 繊維需要(2); 需要量(2)
 045 マーケティング(48)
 046 市場(96); 市場展望(3); 市場動向(2); 市場構造(1); 新市場(2); *markets
 047 市況(2)
 CP1
 100 ◦ 企業(136)
 101 繊維産業(57); 繊維企業(2); 繊維業界(5)
 102 経営(59); 経営戦略(3); 経営論(3); 経営史(1); *clothing trade-management; *needlework industry and trade-management
 103 [創業, 創業者] 創立事業(1)
 104 地域産業(1)
 105 大手(22)
 106 中小企業(5)
 107 零細経営(2)
 108 下請(2)
 109 同族的企業(1)
 120 決算(2); 財務(2); *clothing trade-accounting; *clothing trade-finance
 121 売上(5); 売上高(12)
 122 経費(2); コスト(7); 支出(2); *clothing trade-costs
 123 収益(5); 収益力(3); 増益(2); 増収(2)
 124 利潤率(1); 純利潤率(1)
 125 帳票類(2)
 126 資本(8); 資金(2); 商業資本(2); 商人資本(1); 営業資金(1); 自己資本(1); 借入資本(1); 地場資本(1); 資本類型(1)
 127 株(10); 投資(8); 資本家(1)
 128 注文(2); 受注(2); オーダエントリ(2)
 129 仕入れ(4)
 130 価格(19); 価格支持(1); 上代(1); *price policy; *clothing trade-prices; *price discrimination; 435 price and value
 131 税(12); 申告(9); *clothing trade-taxation
 140 営業(10)
 141 ヒープ(4)
 142 省エネルギー(4); 省エネ(3)
 145 427 renting and leasing
 150 雇用(1); 労働力(1); 464 labor supply and employment
 151 労働(12); 労働問題(1)
 152 労務管理(2); *clothing trade-labor productivity; *sweating system
 153 [労働条件]; *clothing trade-job descriptions
 154 [労働衛生] *clothing trade-hygienic aspects; *textile industry and fabrics-physiological aspects
 155 賃金(9); 賃上げ(2); *wages-clothing workers
 160 家内労働(2)

- 161 婦人労働(3); 女性労働(1); 女工(1)
- 162 児童労働(1)
- 170 〔労働者の組織〕*trade-union-clothing workers; *collective labor agreements-clothing industry; **467** labor organization
- 171 〔労務指導〕*clothing trade-vocational guidance
- CP2
- 200 流通業(5)
- 201 問屋(17); 都市問屋(1); 卸売業(9); 卸売(6); 卸商(2); *warehouse; **442** wholesale marketing
- 202 商社(17); 商事(3)
- 203 買継商(1); *brokers
- 204 バイヤー(2)
- CP3
- 300 〔運輸一般〕
- 301 出荷(2)
- 350 〔倉庫一般〕
- 351 在庫(4)
- CP4
- 400 貿易(38); 繊維貿易(4); 貿易動向(2); 三角貿易(1); 水平貿易化(1); 垂直貿易(1); 貿易史(1); **439** foreign trade
- 401 輸入(25); 輸入問題(2); 直輸入品(2); *import quotas
- 402 輸出(51); *export premium
- 403 国際市場(2)
- 404 〔海外との交渉, 接触〕外交(2)
- 405 〔海外との提携, 協力〕海外進出(2)
- 406 国際的分業(2)
- 410 為替(2); 円高(2); **43** exchange
- 411 関税(3)
- 430 舶来好み(1)
- 431 オリエンタリズム(1)
- 432 ジャポニズム(1)
- 433 洋装(5); 洋装化(2)
- 434 ◦伝来(7)
- 440 伝統産業(4)
- 441 ◦伝統(41); 在来型(2)
- 460 先進国(3)
- DPO
- 000 デザイン(130); デザイン論(2); 意匠(11); *design; design, decorative
- 001 ◦造形(13)
- 002 基礎デザイン(2)
- 003 平面構成(4)
- 004 シンメトリー(2)
- 005 バランス(2)
- 006 ◦装飾; **301** ornament
- 007 ◦設計(40)
- 008 ◦構成(59)
- 010 服飾デザイン(4); 衣服設計(9); 服装デザイン(2); 服装造形(4); 被服意匠(2); 被服設計(3); 被服造形(1); ファッションデザイン(1); *costume design
- 011 デザイナー(33); デザイナ(14); 作家(13); designers(11); *デザイナー; *costume designers
- 012 ◦コンセプト(13)
- 013 ◦ビジョン(10)
- 014 ◦イメージ(15); image(4)
- 015 ◦アイデア(7); イデア(3); **822.03** ideas about form, color and sound
- 016 オリジナリティ(2)
- 017 商品動向(2)
- 018 商品企画(9); マーチャンダイジング(20); MD(5); 製品政策(5)
- 019 製品開発(1); 新製品(1); **176** innovation
- 020 ◦予想(21); 予測(3)
- 021 ブランド(36); 銘柄(2); *銘柄
- 022 差別化(5)
- 023 ◦サイクル(3)
- 024 多様化(9)
- 025 trends(4); **178** socio-cultural trends
- 026 商品名(1)
- 030 ファッションイラストレーション(4); イラストレーション(3); イラスト(3); スタイル画(1); *スタイル画; *fashion drawing
- 031 モチーフ(1)
- 035 サイズ(55); 寸法(45); 衣服寸法(3); 計測値(3); 構成寸法(1); 身体計測値(1); **804 (80)** weight and measure
- 036 標準寸法(1)
- 037 計測(27); 計測法(4); 測定(10); 身体計測(7); 採寸(2); 写真計測(2); *clothing and dress measurements; *clothing and dress measurement-tables,

- calculations, etc.
- 038 〔部分的計測および計測値〕文(2)
- 039 モアレ(13); モアレ法(6); モアレ写真法(2)
- 040 モデリング(3)
- 041 パターン(63); パターンメイキング(5); 作図(7); 製図(4); 製図法(2); 平面製図(1); 割り出し法(1)
- 042 ◦ 図形(5)
- 043 図学(3); 幾何図学(1)
- 044 ◦ 線(8); 曲線(6); 被服構成線(1)
- 046 ◦ 形態(64); かたち(13); 形態的因子(2); フォーム(1); 形態変化(1)
- 047 形態安定性(3); 安定感(1)
- 048 フィット(1); 適合度(1)
- 049 運動量(2)
- 051 タイト(2)
- 052 ゆとり感(1)
- 060 ◦ 立体(8)
- 061 ◦ カーブ(1); 複曲面
- 062 コーディネート(7)
- 070 見本帳
- 080 グレーディング(6)
- DP1
- 100 スタイル(17)
- 101 ◦ 外観(2); ルック(2)
- 102 ◦ 美(19); 美しさ(5); 審美性(1)
- 103 映え(2)
- 104 ◦ 美術(5)
- 105 服飾美(3); 服飾美学(2)
- 106 〔美の理想, 規準〕美意識(7); 美的評価(1); **517.03** esthetic ideals and principles
- 107 **531** decorative art
- 120 ◦ 感情(5)
- 121 感情効果(4)
- 122 ◦ 感覚(7)
- 130 錯視(3); 錯視現象(1)
- 131 官能(6); 官能量(2)
- 132 官能検査(8); 官能テスト(2)
- 133 イメージテスト(1)
- 134 嗜好性(3); 嗜好(2); 好み(1); 選好理由(1); **517.04** canon of taste
- 135 視覚評価(4)
- 140 いき(2)
- 141 野暮(2)
- 142 シック(3)
- 143 おしゃれ(12)
- 150 心理(5); 被服心理(1); 深層心理(1); *psychology; *social psychology; *mind and body/psychology; **15** behavior process and personality
- 151 色彩心理(5)
- 152 パーソナリティー(1); **15**
- 153 連想(4)
- 154 女性羨望(1)
- 155 ◦ 意識(50)
- 160 *etiquette; *salutation; **562: 576: 644** etiquette
- 161 *courtship
- 162 *social ethics; *moralities
- 163 象徴性(2); 象徴(2); シンボリズム(1); *symbolism
- 164 記号(1); 記号学(1)
- 165 *totems; *totemism
- 166 *taboo
- 167 *social groups; **554** status, role and prestige; **56** social stratification
- DP2
- 200 ◦ 人(13); 人間(12)
- 201 ◦ 身体(43); 人体(15); 生体(7); 体(4); ボディ(4); 動体(2)
- 202 身体観(1); 身体像(1)
- 203 体型(84); 体格(10); からだつき(2)
- 204 体型分類(8); 体型指数(2)
- 205 体型差(4); 体型変異
- 206 プロポーション(6); 全身比(1); 頭身比(1); ハットウシン(1)
- 207 側面体型(2)
- 208 シルエット(3); シルエット写真(1)
- 209 動作(27); 運動(15); 身体活動(2); 作業(3); *身ぶり; *motion/physics; *motion/analytic mechanics; **201** gesture and sign; **15**
- 210 〔人体の部分的動作, 運動〕上肢動作(2)
- 211 〔人体の部分〕胴(4)
- 212 姿勢(6); *posture; *attitude (psychology); **516** postures
- 213 体表面(10)
- 214 体質(11)
- 215 〔衣服生理〕生理機能(1); 生理メカニズム(1); *clothing and dress-phy-

	siological aspects; 14 human biology	281	*sexual customs; 83 sexology
216	衛生(10); 衛生学(2); *環境衛生; *労働衛生; 515 personal hygiene	282	*sexual ethics
217	*color of man	283	*わいせつ; *sexual perversion
218	体温(2)	290	ヒステリー(3)
219	体温調節(2); 体温調節機能	DP3	
220	[人体美] *beauty, personal	300	着装(34); 着方(6); 着用(30); 着ること(2); 着付(2); 着込み(2); 着こなし(1); 衣紋(2); 装い(1)
221	*dynamics		
222	体重(3); 標準体重	301	着心地(8)
223	肥満度(3); 肥満(1); 肥満体型(3)	302	着くずれ(3)
224	ローレル指数(2)	303	左おくり(2)
225	[減食] 262	304	関心度(3)
226	健康(1); ヘルシー(2)	305	着用意識(1); 着用感(1)
227	ボディコンシャス(1)	306	実用性(4)
228	疲労(1)	307	所持数(4); 被服所持数(1); 所持枚数(1)
229	成長(人体)(4); 発育パターン(1); 発育推移(1)	308	所有率(2)
240	*睡眠; *sleep	309	着衣量(1)
241	沐浴習慣(2)	310	着用率(2)
245	*nudism	311	使用頻度(2)
246	[裸体] *nude in art; 291.1	312	使用実態(1)
250	環境(17)	313	死蔵率(1)
251	トポグラフィ(3)	314	被服計画(1)
252	気候(2); 132 climate	320	風俗(22); 習俗(2); 習慣(1); *manners and customs
253	異常気象(4)	321	ライフスタイル(1); 生き方(1); *conduct of life
254	温度(3); 気温(1); 374 notion about heat and cold perception	322	ライフサイクル(1)
255	湿度(1); 透湿性(1)	323	生活意識(3)
256	通気性(1)	324	社会的環境(1)
260	人間工学(2)	325	文化変容(1)
261	[からだを覆うこと] カバリング(2); 291.1	326	[ことわざ, ことば遊び, いい伝え, 笑い]
263	保温(4); 保温性(5); 保温効果(1)	330	所得(1); 434 income and demand
265	厚着・薄着(1)	331	[生活水準] 511 standard of living
266	着衣重量(2); 着装重量(1); 衣服重量(1)	340	[住居] 342 dwellings
267	*clothing, protective	341	[室内装飾一般] 353 interior decoration and arrangement
268	*orthopedia	342	[家具, 什器]
269	[衣服圧] 快適衣服圧(1)	343	[照明, 燈火] 373 light
271	[皮膚への影響に関するもの]皮膚刺激性(1); *皮膚障害	346	家族(4)
272	[皮膚の衛生に関するもの] *skin-care and hygiene	347	家事労働(2); 356 housekeeping; 357 domestic service
275	拘束性(2)	350	[都市と地方に関する問題一般]都市化(1); 91 town
276	安全(5)		
280	性差(2); 838 homosexuality	DP4	

- | | | | |
|-----|---|-----|---|
| 400 | 〔展らん会〕展(12); デザイン展(3); 衣裳展(2) | 054 | 家族制(1) |
| 401 | ショーイング(12); *fashion show | 055 | 請負制(1) |
| 402 | コレクション(31) | 060 | 既制服(18); 既製衣料(1) |
| 403 | モデル(ファッション)(4); *model, fashion | 061 | ◦既製(22) |
| 404 | マネキン(4) | 062 | 既制服化率(1) |
| 405 | コンクール(4) | 063 | プレタポルテ(14); プレタ(3) |
| 406 | キャンペーン(3) | 065 | 多角化生産(1) |
| 407 | 見本市(2) | 070 | ホームソーイング(2) |
| EP0 | | 080 | 接着(17) |
| 000 | ◦製作(28); 生産(54); 製造(11); メーキング(9) | 081 | ◦分量(6) |
| 001 | ◦製品(50) | EP2 | |
| 002 | ◦技術(61); 技法(20); 技能(3); テクニック(1) | 200 | 裁縫(16); 被服構成(18); 衣服構成(9); 被服製作(6); 仕立て(2); *裁縫 *dressmaking; 294 |
| 003 | 技術開発(8) | 201 | 被服構成学(12); 構成学(10) |
| 004 | ◦加工(24) | 202 | 裁断(4); 裁断法(3); 断変形(2); せん断剛性(1); *garment cutting |
| 005 | 生産構造(2) | 203 | 地直し(5) |
| 006 | ◦試作(5) | 204 | 布目(6); 地の目(1); 布目復元(1) |
| 007 | ◦実験(26) | 205 | 型入れ(6) |
| 008 | ◦機能(27) | 206 | 縫製(68); 縫い(14); ソーイング(10); 縫製作業(2); *sewing |
| 009 | ◦検査(6); パッチテスト(1) | 207 | 手縫い(2) |
| 010 | ◦扱い方(4) | 208 | 〔ミシン縫い〕上糸張力(1); 動的上糸張力(1) |
| 011 | ◦品質(35) | 209 | 運針(13) |
| 012 | 品質管理(14); *clothing trade-production standard | 210 | なみ縫い(4) |
| 013 | 品質評価(2) | 211 | 〔さまざまな縫い方, 運針〕 |
| 014 | 品質保証(1) | 212 | 縫目(15); シーム(2); 縫目状態(1); ミシン縫目(1); *seams (sewing) |
| 015 | 〔不合格品〕 | 213 | 縫目強度(3); 縫目強さ(1); 縫目引張強さ(1) |
| 016 | 偽造品(1) | 214 | 縫目数(1) |
| 030 | 工業(119) | 215 | 縫目効率(2) |
| 031 | 工業化(3) | 216 | 縫いずれ(3) |
| 032 | 工場制度(3); 工場制(1) | 217 | パッカリング(1) |
| 033 | 機械化(3) | 218 | 八刺し(1) |
| 034 | 動力化(2) | 219 | 縫代(8); 縫代始末(1) |
| 035 | 自動化(3) | 220 | 〔ヘリの処理〕始末(2); ヘム(1); *trimming |
| 036 | 手工業(1) | 221 | きせかけ(1) |
| 037 | 手芸(9); 手工芸(2) | 222 | 〔縫糸〕縫糸特性(1); 縫糸長(1) |
| 038 | 工芸(10); クラフト(2) | 223 | 針跡(1) |
| 039 | 手づくり(1) | 240 | 表地(5) |
| 050 | 生産管理(3); *clothing trade-quality control | 241 | 裏地(9); 裏(4) |
| 051 | 作業環境(1) | 242 | 裱仕立て(2) |
| 052 | 操業短縮(2) | | |
| 053 | 過剰設備(2) | | |

243	芯地(16); 芯(3); ストレッチ芯(2)		
244	接着芯地(2)	311	ドライクリーニング(1); ドライクリ ーニング性(2)
246	補強(1)		
247	補正(1); 補正法(2)	312	〔漂白〕* bleaching
250	〔アイロンがけ〕アイロン温度(1); *pressing of garments	313	*シミスキ
251	いせ込み(3); いせ分(1); いせ込み性 (2); いせ込み分量(1)	xxx	〔アイロンがけ〕 — ⇒EP250
253	ギャザリング(4); ギャザ(2); ギャザ ー(2); ギャザー分量(7); ギャザー効 果(1)	315	〔洗たくによる障害〕洗濯変形(1)
256	切替え線(1); ヨークの切替え位置(1)	320	〔痛み, 古び一般〕布地の疲労(1)
257	ダーツ(6); *darts	321	汚れ(1)
260	ゆとり(16); ゆとり量(13)	322	黄変(1)
262	〔ドレープ, ドレープ性に関して〕ドレ ープ係数(1); 曲面ドレープ(1)	323	摩擦(4)
263	フレア(2)	324	経年変化(2)
264	フリル(3)	330	処分(1)
266	スリット(2)	331	復元(9)
267	打合せ(1)	332	リフォーム(1); 更生(2)
268	〔衿あき, 衿ぐり〕ネック(2); *deco- lletage	334	〔補修〕繕い刺し(1); *clothing and dress repairing; 296-02
269	衿(12); 衿付け(6) .1 シャツカラー(1) .2 テーラーカラー(1); テーラード (6); 背広衿(1) .3 開き衿(1) .4 折り衿(1) .5 立衿(1)	340	古着(2)
270	袖(15); 袖型(2); *sleeves; ◎sleeves	xxx	〔遺品〕⇒ BP 343
271	〔袖つけの構造〕袖ぐり(3); 袖つけ(2) .1 キモノスリーブ(1)	EP4	
272	〔袖の長さ〕半袖(2)	400	メーカー(65); 製造業(8); メーカ(4); 産元(2)
273	袖山曲線(3)	401	繊維工業(17); *繊維工業; 288
280	身頃(5)	402	アパレル産業(20); 縫製業(8); アパ レル企業(2); 既製服業界(2); *縫製 業; *needlework industry and trade;
285	*pockets; ◎pockets; ◎watchfobs	xxx	〔洗濯業〕⇒FP088
286	インサイドベルト(2)	xxx	〔洋服仕立業〕⇒FP083
EP3		413	小生産者層(2)
300	保存(2); costume-conservation and restoration; 296	420	産地(96); 生産地(2)
301	収納(2); 収蔵(2)	421	産地報告(3); 産地レポート(2); 産地 診断(2)
302	被服管理(3); *clothings and dress- care; 296-03	422	地場産業(11); 地場(23)
303	被服整理学(7); *被服整理	FP0	
310	洗たく(4); 洗い(3); 洗濯(1); クリ ーニング(8); *洗濯; *cleaning;	000	小売(22); 小売業(30); リテイリング (1); *retail trade
		001	販売(42); 販売過程(1); 販売論(2); 432 buying and selling
		002	購入(9); 購買(6); 衣類購入(1); 衣 類の購入(1); *shopping
		003	購入状況(1)
		004	購買行動(4); *shopping
		005	試買(2)
		006	購買決定(1)
		007	顧客動機(1)
		008	消費者志向(2); 消費志向(1)

- 009 消費行動(5) dows
- 010 顧客(3); 客(2) 126 *照明
- 020 商圏(6); *sales/marketing 130 訪問販売(3); 行商活動(1)
- 021 商店街(2) 131 [カタログ販売, 通信販売]*catalogue
commercial; *mail-order business
- 022 ストアポジショニング(1) 132 *subscription trade
- 023 買物距離(1) 133 [行商]; 行商活動(1)
- 030 小売店(9) 134 [景品販売]*premium (retail trade)
- 031 ショップ(28); 店(14); 店舗(8); ス
トア(7); 商店(2) 135 パーゲン(4)
- 032 ブティック(9) 140 リニューアル(2); リフレッシュ(2)
- 033 専門店(53) 141 売れ筋(4); 売筋商品(1)
- 034 中小店(13) A Q 0
- 035 生業の小規模店(2) 000 繊維(315); ステープル(5); ファイバ
ー(2); *繊維; *fibers
- 040 百貨店(36); デパートメント(3);
*department store 001 素材(58); 新素材(4); 材質(3); 被服
材料(2); 原料(4); *被服材料; 材料
学(2)
- 050 量販店(5) 002 原料適及(1)
- 051 スーパー(4) 004 *textile waste
- 052 チェーン(3); *chain-stores 009 *blended yarn
- 053 VC(2) 010 *動物繊維; *animal fibers; 237
- 054 市場(1) 011 絹(46); きぬ(2); シルク(3); *silk/
textile fibers
- 060 老舗(9) 012 絹織物(8); *絹織物
- 061 繁盛店(3) 013 絹糸(2); *絹糸
- 062 ファッションビル(2) 014 生糸(14); *生糸
- 063 ストア・イメージ(1) 015 養蚕(4)
- 070 POS(3) 016 繭(3); *繭
- 080 衣料店(2) 017 *真綿
- 081 ファッション店(3) 020 毛(42); ウール(12); ウール地(2);
*羊毛(9); *羊毛; *wool/textile fibers
- 082 洋服業(2); *洋服商 021 毛織物(7); 毛織(2)
- 083 仕立業(1) 022 *wool waste
- 088 *洗濯業 023 毛皮(10); *毛皮; *furgarment
.1 ミンク
- F P 1 024 皮革(18); 皮(2); レザー(7); レザ
(4); *皮革; *皮革製品; *hide-sand
skins; *buckskin suit; *leather garment
- 100 [販売技術一般] 商法(6) 025 スエード(5)
- 101 商人(7) 026 *鞣革
- 102 販売員(2); *salesmen and salesman-
ship-clothing 028 [牧畜, 牧畜業] 牧羊(1); 236 wool
production
- 103 販売力(4) 030 ダウン(4); 羽毛(2)
- 104 商品知識(1) 040 [鉱物繊維]
- 110 販促(9); 販売促進(3); プロモーション
(2) 041 *asbestos fibers; *ロックウール; *石
綿
- 120 [店舗設計全般]
- 121 売場(17)
- 122 フロア構成(2)
- 123 *store fixture
- 124 ディスプレイ(小売)(2); 陳列(2);
*display of merchandise
- 125 [ウインドディスプレイ] *show-win-

050	[植物繊維]	092	ポリノジック(2)
051	紙布(7); 紙子(2); 紙衣(2); *紙子; *paper threads	BQ2	
052	*紙製品; *和紙; *紙工紙	200	*textile industry and fabrics-study and teaching
054	[樹皮繊維]	201	*textile schools
	.1 *こうぞ	BQ3	
	.2 *みつまた	300	[繊維, 素材についての情報一般]繊維事情(5)
	.3 藤布(2)	310	*textile museum; *textile industry and fabrics museum
055	*藁; *藁工品; *straw coats		
056	*パルプ		
060	麻(2)	CQ1	
061	麻織物(2); *麻織物	100	織物金融(1)
	.1 *マニラ麻	CQ2	
	.2 *flax	200	麻問屋(2)
	.3 *hemp	CQ3	
	.4 jute ramie	300	繊維貿易(4)
070	綿(53); 木綿(26); もめん(4); モメン(2); コットン(4); *綿	301	羊毛貿易(2)
		302	生糸貿易(2)
071	綿製品(2)	DQ0	
072	木綿布(2)	000	テキスタイルアート(1); *textile design
073	*綿織物; *cotton fabrics		
074	綿花(7); *綿花	001	*fancy work
075	綿スフ(3)	003	材質感(4)
076	綿糸(2); *cotton yarn	004	*手芸一図案
077	*ふとん綿	005	*染色一図案
079	[衣料繊維農業] 248	006	*刺繡一図案
080	合織(43); 合成繊維(10); 合成繊維原料(1); *synthetic fabrics	007	*織物一図案
081	化学繊維(5); 化繊(5); *化学繊維	009	*needlework-pattern
082	合成特化素材(1)	010	*sizing (textile)
083	レーヨン(3); 人絹(3); スフ(8); *人造絹糸; *Rayon, Synthetic fabrics	DQ4	
084	*人造絹糸織物	400	*textile design competition
	.1 *アセテート	EQ0	
085	ナイロン(1); *ナイロン; *nylon	000	*繊維工学
	.1 ウーリーナイロン	EQ1	
086	ポリエステル(24); ポリエステル繊維織物(1)	100	布(35); 布地(17); 布帛(2); 服地(9); 生地(4); スーツ地(3)
087	アクリル(3); アクリル繊維(2); *アクリル繊維	101	[布の巾]
088	ストレッチファブリックス(11); *stretch woven fabrics		.1 小巾(2)
089	スパンデックス(2)		.2 広巾(3)
090	人工皮革(4); *合成皮革; *leather, artificial	102	布の厚さ・厚み(4)
091	炭素繊維(2)	105	色彩(66); カラー(84); 色(33)
		106	[色彩理論] 色彩学(5)
		107	流行色(4); 色彩傾向(3); 色彩動向(2)
		108	嗜好色(5); 色彩嗜好(4)
		109	色感(3); 色彩感覚(2); 色彩感情(2)
		110	[色の組合せ, 調和, 対比] 配色(8);

- 異色(3); 色差(1); 五色(1)
- 111 彩色(1); 彩色法(1)
- 112 測色(1)
- 113 [有・無彩色]
 .1 有彩色(3)
 .2 無彩色(4)
- 114 色名(4); 色彩語(1); 色彩語彙(1)
 .1 紫(3)
 .2 赤系統(2); 赤(2)
 .3 青(2)
 .4 黄(1)
- 115 [三属性に関するもの]
 .1 色相(3)
- 118 [色についての他の観点]
 .1 色調(4)
 .2 純色(1)
- 120 文様(47); 模様(28); 柄(14); 紋(3);
 衣服文様(2)
- 121 装飾文様(2)
- 122 図案(2); *pattern design
- 123 紋章(5); 家紋(4)
- 124 [染, 織および布帛一般に施された柄]
 織文(3); 染色文様(2)
- 128 [文様名]
 .1 縞(5); ストライプ柄(1)
 .2 小紋(5)
- 130 [糸一般] 糸(17); *yarn
- 131 紡績(40); *紡績; *spinning
 .1 綿紡(5); *綿糸紡績
 .2 *麻糸紡績
 .3 *羊毛紡績
 .4 *オープンエンド紡績
 .5 *絹糸紡績
- 132 紡績(27)
- 133 製糸(7)
- 134 撚糸(2); *撚糸
- 135 梳毛(2); *carding
- 136 毛糸(5)
- 137 糸の太さ(2)
- 138 *加工糸; *fancy yarn; *tufted textile;
 *laminated fabrics
- 140 染織(90); 染織品(10); 染色工芸(3)
- 141 織物(167); テキスタイル(48); 織・
 織り(34); 織布(10); 機織り(4); ウ
 ィービング(3); 織り組織(1); 織物構
 造(1); *機織り; 製織; *織物; 286
- 142 不織布(9); 製絨(1); *不織布;
 *nonwoven fabrics; *felt; 287
- 143 手織り(10)
- 144 [経緯の態様]経緯(2); 緯糸(2); 緯糸
 の斜行(2); 一本経(1)
- 145 *紋織; *紋織物
 .1 タピスリ(3); *tapestry
- 147 交織品(3)
- 148 [織物の種別]
 .1 ジーンズ(37); *jeans
 .2 コール天(2)
 .3 綾(2)
 .4 ベルベット(3); 別珍(2); *velvet
 .5 ラジャ(1)
 .6 ガーゼ(1)
 .7 *紬
 .8 *毛布
 .9 タオル布(1); *タオル
- 149 [織物の種別]
 .1 *terry fabrics
- 150 ニット(76); 編地(7); 編物(6); メリ
 ヤス(6); 編立(2); 綿メリヤス(1);
 綿ニット(1); *編物; *メリヤス;
 *knitting, machine
- 151 手編み(3)
- 152 [ニットの種別]
 .1 横編(9)
 .2 棒針編み(2)
 .3 アフガン編み(2)
- 154 *reweaving
- 155 *stretch woven fabrics
- 160 染色(104); 染・染め(81); 染色加工
 (14); 染色整理(2); 染物(2); 染色法
 (5); 染色性(7); 染色布(5); 染色物
 (2); *染色; 染布(2); dyes and dyeing
- 161 *染料科学
- 162 染着率(1)
- 163 脱色(2); *漂白; *bleaching
- 164 褪色(2); 染色堅ろう度(3); *color-
 fastness
- 165 防染(4); 防染性(2)
- 166 媒染(4); 媒染剤濃度(3)
- 167 草木染(22)
- 168 手描(2); *textile painting; *fabric
 pictures
- 169 型染・型染め(12); プリント(28); 捺

	染(5); 手捺染(4); 転写(2); 型絵(2); *捺染法		糊料粘土(1)
170	絞り(22); *絞染		.4 ネル(1); 綿ネル(1)
171	緋(17); *緋		.5 *防水布; *waterproofing of fabrics
175	〔染めの通称〕		.6 *樹脂加工
	.1 calico printing		.7 *mercerization
176	〔染料による染めの種類〕	190	.8 *crimping of textiles
	.1 *coal tar colors		.1 布物性(2); 物性(7); 引張り(2); 物性変化(2)
178	〔技法による染めの種類〕		.2 伸縮性(3); 伸縮(2); 収縮(2)
	.1 高温染色(1); 染色温度(1)		.3 風合い(9)
	.2 板引(1)		.4 ドレープ(9); ドレープ性(2); ド レープ係数(2)
	.3 *ろうけつ染		.5 〔防災・防熱性〕熱抵抗(5); inflam- mable textiles
180			.6 堅ろう性(2); 堅ろう度(3)
	.1 刺繡(10); *刺繡; *embroidery; *cross-stitch		.7 バイアス(2)
	.2 刺し子・刺子(10); 刺し子着(1)		.8 ラン伝播(2)
	.3 キルティング(2); *quilting		.9 ウオッシュャブル(9)
	.4 レース(14); *レース; *lace and lace-making	191	
	.5 〔フリジン, ボーダー〕玉縁(2)		.1 耐光性(1)
	.6 マクラメ結び(1)		.2 防しわ性(2); *creasing of textiles; *crease-resistant fabrics
	.7 棒針編み(2)		.3 摩擦特性(1)
	.8 マクラメ編(1)		.4 変透過性(1)
181			.5 湿潤摩擦(1)
	.1 *編物(毛糸)		.6 換率(1); よじれ(2)
	.2 *編物(レース); *needlepoint lace		.7 *帯電防止
	.3 *アップリケ; *applique		.8 *フロック加工
	.4 *組物(繊維品); *braid		.9 *rubberized fabrics
	.5 *網; *netting		
	.6 *ビーズ細工		
	.7 *rope; 284 knot and lashing; 284 cordage	EQ4	
	.8 *samplers	400	染色業; 386
	.9 *punched work	401	織物業(16); 機業(8); 織布業(5); 織 業(4); 織物工業(3); 織物産業(2); *機業
182		402	絹織物業(2)
	.1 *patch work	403	綿織物業(3)
	.2 *passementries	404	*毛織物工業
	.3 *drawn-work	410	ニット(1); *メリヤス産業; *knit goods industry
	.4 〔革細工〕281	411	紡績業(20); 製糸業(2); 紡績業界(2)
185	〔籠, むしろ編〕285	422	蚕糸業(4)
186	*textile finishing	424	牧羊業(2)
187	〔布面加工〕	430	合織業界(9); 合織メーカー(2); 合織産 業(2); 合成繊維企業(1); *合成繊維 工業; 384
	.1 コーティング(1); *コーティング; *coated fabrics		
	.2 シルキー(4)		
	.3 糊付〔濃度〕(1); 糊料付着量(1);		

- 431 繊維素化学工業
- 432 紡織業(4)
- 433 綿業(16); *綿業
- 434 羊毛工業(2)
- 435 *flax industry
- 436 *皮革工業; *leather industry and trade; 282
- 437 *embroidery industry
- 438 *hand loom industry
- 439 *製紙業; *紙パルプ工業; 289
- 440 染色業(2); *cleaning and dyeing industry
- 460 出機(4)
- 461 賃機(4)
- FQ0
- 000 *fabric shops
- 001 絹物商(1)
- AR0
- 000 メンズ(40); 紳士服(11); メンズウェア(5); 男物(5); 男子服(3); *men's clothing; 男子(14); 男性(9); 紳士(15); 男(5); 成人男子(2)
- BR3
- 300 *tailoring-periodicals
- DR0
- 000 *tailoring-pattern design
- ER2
- 200 *洋裁—男子服
- 201 *tailors
- FR0
- 000 紳士服店(2)
- AS0
- 000 婦人服(53); レディース(25); ウィメンズ(11); 女物(8); 女子服(3); レディースウェア(2); ウィメンズウェア(2); *woman/costume; 婦人(69); 女子(55); 女性(41); 女(12); 成人女子(6); レディ(4); フェミニン(3); 女装(3); 婦女(2); 女人(2)
- 001 ミス(2)
- 002 若年女子(2); 青年女子(2)
- 003 ミセス(5)
- 004 OL(2)
- 005 女学生(6)
- 006 女子大学生(3); 女子大生(2)
- 007 女子学生(11)
- 008 女子短大生(3)
- 010 妊産婦(5); 妊婦(5); マタニティ(3)
- 011 母親(2)
- ES2
- 200 *洋裁—婦人服; *dressmaking
- 201 *dressmakers
- 202 *tailoring (women's)
- FS0
- 000 婦人服店(2)
- AT0
- 000 子供服(29); *children's clothing; 子供(15); 児童(9)
- 001 [ミドルティーン]
- 002 ローティーン(2)
- 003 シニア(2)
- 004 女兒(2)
- 005 [男児]
- 006 乳児(3); ベビー(2)
- 007 乳幼児服(5); 乳幼児(5); *infants
- 008 幼児服(6); 幼児(6)
- 020 幼稚園児(1)
- 021 生徒(6)
- 022 学童(4)
- 023 小学校(16)
- 024 中学校(15)
- 025 高校生(10); 高校(5)
- ET2
- 200 *洋裁—子供服
- FT0
- 000 子供服店(5)
- AU0
- 000 [かたち, 着かさねかた, 覆う部位などによる衣服の種別]
- 010 下着(14); ファンデーション(10); インナー(3); 肌着(2); ランジェリー(2); 下着類(2); *underwear; *lingerie
- AU1
- 100 [着る人による区別一般]
- 101 [性別一般] 562 sex status; 83 sex; 291-04
- 102 [未・既婚別一般] 58 marriage
- 103 [年令別一般] 561 age stratification; 291-04
- 104 [民族別一般] 619 tribe and nation
- 105 [地域別一般] 13 geography
- 110 [職業別一般] 463 occupational specialisation

111	〔社会的地位, 身分, 役割に関する区別一般〕 554 status, role and prestige; 564 castes; 565 classes; 292-03	AV0	333	和服(56)
113	ユニフォーム(12); *uniforms; ◎uniform, civil		001	和装(30)
114	357 domestic servants; 567 slavery		002	きもの(65); 着物(4); kimono(1); *kimono
115	54 entertainers		003	長着(13)
116	〔芸者〕		004	小袖(14)
117	548 prostitutes		010	羽織(1)
120	674 criminals, prisoners		011	長じゅばん(2)
121	732 handicapped		012	浴衣(6); ゆかた(3)
122	79 ecclesiastical specialists		013	単(3); 単衣(2)
123	877 students		014	袴(9)
180	76 the dead		015	法被(2)
181	775 ghosts		016	足袋(3)
182	776 spirits, gods, angels, saints	BV2	017	帯(12)
183	〔象徴的人物〕 ◎symbolic figure; 532 representative art		200	和裁教育(1)
184	〔宇宙人など空想上の人物〕 532 representative art	EV1	201	和裁実習(1)
190	人形(2); *doll clothes; ◎dolls; ◎puppets		100	呉服(12)
191	〔動物の衣服〕		101	着尺(4)
AU2			102	和服地(11)
200	〔目的, 場合による区別一般〕 292-01		103	浴衣地(2)
201	821 seasonal changes; 291-05		104	帯地(2)
202	512 daily routine		110	和装色(5)
205	484 travel		120	〔和服の柄一般〕
206	515 swimming		.1	*更紗模様; *更紗
207	517 leisure time activities		150	ちりめん(3); 縮緬(2); *縮緬
208	527 festival; 769 religious festival		151	縮地(2); 縮み(2); *ちぢみ
209	〔假装〕		152	袖(13)
210	535 dancing		160	〔織りの銘柄〕
211	714 military garb		.1	博多織(16)
212	764 funeral		.2	西陣織(4)
213	302 toilet		180	〔染めの銘柄〕
214	466 labor	EV2	.1	友禅(1)
215	513 sleeping		.2	*友禅染
216	585 wedding		200	和裁(15); 和服構成(3); *和服裁縫
217	526 athletic sports		210	大裁(7)
218	527 rest days and holidays		220	衿肩明き(3)
219	〔映画, 演劇用衣裳〕 536 drama		221	掛衿(2)
EU2			222	衿付け線(1)
200	*underwear/manufacture	EV4	230	筒袖(1)
EU4			400	和装業界(2); 和装産業(1)
400	*underwear industry	FV0		

- | | | | |
|-----|--|-----|--|
| 000 | 呉服店(2) | 225 | [cummer bunds] |
| AW0 | | 226 | 襷(2) |
| 000 | 装身具(10); *accessories and ornaments; dress accessories | 230 | ネクタイ(11); *ネクタイ; *neckties; *cravats |
| 001 | *小間物 | 231 | *neckwear |
| 002 | [洋品] | 232 | ショール(2); *shawls |
| 003 | 雑貨(4); *雑貨; *dry goods | 233 | スカーフ(7); *scarves |
| 010 | 組ひも(7) | 234 | マフラー(2) |
| 011 | *造花 | 235 | *stoles |
| 012 | *horse hair | 240 | 前掛(2); *aprons |
| 013 | *reliquaries | 250 | [お守り, 護符]* amulets and talismans |
| AW1 | | 251 | [signs and badges] |
| 100 | 宝飾(2); *jewelry | 252 | *bells |
| 101 | [宝石一般とその種類] 宝石(3); *gems | 253 | *watches; *watch keys |
| 104 | [貴金属一般とその種類] | 254 | *mirrors |
| | .1 *gold | 255 | [腰などからさげる袋—sporran など] |
| | .2 *silver | 256 | かぎ(2) |
| 106 | 真珠(4); pearl(2) | 257 | *eye glasses |
| 107 | *cameo | AW3 | |
| 108 | サンゴ(2) | 300 | かぶりもの(2); 頭装(2); 冠帽(2); *headdress; *head-gear |
| 109 | *paste jewelry | 301 | 帽子(5); *帽子 |
| 120 | 対耳輪(1); *ear-rings | 303 | *hats |
| 125 | *rings | 304 | [caps] |
| 126 | *rings, wedding | 305 | [nightcaps] |
| 130 | *necklace | 306 | 頭巾(2) |
| 135 | *brooches | 307 | [hoods] |
| 136 | *fibula | 308 | *veils |
| 137 | [safety pins] | 309 | 笠(3); 山笠(4) |
| 140 | *bracelets | 310 | [turbans] |
| 145 | *pendants | 311 | *berets |
| 160 | *cross | 320 | [crowns] |
| 161 | *clips | 321 | [bridal crowns] |
| 162 | *collars (jewelry) | 322 | coronets |
| 163 | *nose ornaments | 330 | *masks |
| AW2 | | 333 | *覆面 |
| 210 | *buttons; *studs | 340 | [headband] *鉢巻 |
| 211 | *aglets, aiglets, aiguillettes | 350 | [かぶりものに付属した飾り, シンボル—cockades など] |
| 212 | *hooks and eyes | 351 | *aigrettes |
| 213 | *cuff links | 360 | *髪飾; *hair ornaments |
| 214 | バックル(2); *buckles | 361 | [hair pins] |
| 215 | *pins | 362 | 櫛(1); *combs |
| 220 | *belts | AW4 | |
| 221 | [ズボン吊り] *braces | 401 | 手袋(4); *gloves; *mittes and mittens; [cestus—籠手, など] |
| 222 | [bandoleers] | | |
| 223 | [wrist bands] | | |
| 224 | chain | | |

402	*muffs		an investment
405	扇(1); *扇; *fans	110	*jewelry trade marks
407	〔杖〕 *staffs; *sticks, canes	151	絹リボン女工(1)
408	〔笏のたぐい—sceptres など〕	152	絹ペール機織女工(1)
415	洋傘(2); *傘; *umbrella and parasols	190	*hosiery workers
420	*喫煙具	DW2	
425	手拭(4); タオル(2)	260	足庄(1)
430	カバン(2); *鞆; *handbags	270	*safety shoes
431	〔財布〕	271	*safety goggles
432	袋物(2); *袋物	273	*safety hats
435	風呂敷(2)	EW0	
440	*handkerchiefs	010	〔宝飾細工〕 *jewelry making; 306
450	〔手箱のたぐい—rochet など〕	011	〔貴金属細工〕 *art metal work; 306
451	〔snuff box〕	013	銀細工(1); *silver-smithing
452	〔珠数, rosaries〕	014	〔金細工〕 *gold-smithing
490	〔武器, 武具一般〕 41 weapons and tools	016	*pearl manufacture
AW5		020	〔合金〕 *gold-alloys
500	はきもの(3); 履物(2)	021	打出し押出(1); *engraving
501	靴(1); シューズ(2); 革靴(1); 婦人靴(1); ハイヒール(1); *靴	030	〔骨, 角, 貝, べっ甲細工〕; 321 work in Bone, Horn, and Shell
502	〔靴の飾り, 付属品—shoe rosettes, shoe horns, shoes roses, shoes buckles など〕	050	*belt trade and manufacture
503	〔サンダル, サボの類〕	080	*shoe manufacture
504	〔下駄〕	085	*hosiery manufacture
505	〔ぞうりの類〕	EW3	
510	*靴下; *hosiery	310	*jewelry-repairing
511	〔短靴下〕 *足袋	380	*boots and shoe-repairing
512	〔長靴下〕 ストッキング(5); 婦人用ストッキング(1)	EW4	
513	パンスト(1)	410	*jewellers
514	〔leggings〕	411	*art metal-worker
515	〔靴下の固定具—garters, leg-bands など〕	412	*precious stones/manufactures
520	〔拍車〕	413	*pearl button industry
BW1		450	*clock and watch makers
101	*hall-marks	460	*millinery
102	*gold-standards of fitness	485	*hosiery industry
103	*silver-standards of fitness	FW0	
BW2		xxx	*millinery ⇨EW460
201	*jewelry-collections and collecting; *jewelry-private collections	470	ハンドバッグ店(2)
CW1		AX0	
101	*jewelry trade	000	ヘア(3); 被髪(2); 髪(1); *毛髪; *hair
102	*jewelry price	001	*ひげ
103	〔宝飾品の売買に関して〕 *jewelry as	002	眉(6)
		050	〔皮膚, 肌色〕 *color of man; *skin/anthropology
		BX1	
		100	*理容師法
		DX0	

- 000 〔ヘアデザイン一般〕*理容;*理髪;結髪(2);*結髪;*hair dressing
- 001 髪型(3);*髪形;302.03
- 002 〔毛髪を剃ること,脱毛〕;302.01
- 004 *hair dyeing and bleaching
- 030 化粧(29);*化粧;*cosmetics;302.06
- 031 メークアップ(4);メーク(2);*make-up
- 033 〔つけばくろ〕patches (for the face)
- 035 〔肌の手入れ〕302.04
- xxx 沐浴 ⇨DP241
- 040 *body marking;*skinmarking;302.05
- 041 文身(5);*入墨;*tatooning;304.01
- 043 *纏足
- 044 *mutilation;*circumcision;304
- 045 〔整形外科〕美容整形(1);*隆鼻術
- 062 薫香(1);香合せ(1)
- 071 *skin friction
- FX0
- 000 理容業(1);理髪店
- 001 *美容業(1);*美容院;hair dressers;305
- AY0
- 000 用具(3);用品(3)
- 001 材料(7)
- BY3
- 310 コンピューター, コンピュータ(10);マイクロコンピュータ(2);オフコン(3)
- 320 写真(6)
- 321 カメラ(5)
- DY2
- 200 〔化粧品一般〕;化粧品(33) 303
- 210 *shaving brushes
- 220 〔化粧品容器〕
- 221 *perfume containers
- 230 *香料;perfumes
- 231 *香水
- 240 *soap
- 250 *歯磨
- 255 *wigs
- EY0
- 000 *clothing factories
- 001 アトリエ(2)
- 010 *繊維機械;*textile machinery
- 011 402 industrial machinery
- 012 404 household machines and appliances
- 015 *shoe machinery
- 020 〔裁縫道具一般,およびその容器〕*needlework implements and appliance;*needlework boxes
- 021 *鋏
- 022 *刀物
- 023 針(3);*針;*pins and needles
- 024 定規(1)
- 050 *ブラシ
- 051 *接着テープ
- 070 *接着剤
- 071 *糊料;*adhesives
- 072 *膠
- 090 雛形体(2)
- EY1
- 105 彩色材料(1);coloring matter
- 109 医薬品(3);医薬品部外品(2)
- 110 染料(53);染色材料(2);*染料
- 111 天然染料(17)
- 112 植物染料(13)
- .1 藍(12);外国藍(1);*あい;*indigo
- .2 紅花(2)
- .3 すおう(1)
- .4 タンニン酸(2)
- .5 木付子(2)
- .6 青花(2)
- 113 染料植物(1);藍作(1)
- 114 〔動物染料〕貝紫(3)
- 115 〔鉱物染料〕
- 117 〔合成,化学染料〕
- 118 反応染料(2)
- 119 分散染料
- 125 〔染色助剤〕
- 128 *漂白剤
- 129 *仕上糊料
- 130 *難燃剤
- 131 糊(5)〔染色用〕;*糊料
- 132 *蝮
- 140 *染色機械
- 141 シルクスクリーン(2)
- 150 織機(6);機(2);機織具(1);*織機;*looms
- .1 力織機(1);動力織機(1);*力織機
- .2 ドビー(2)

151	[編機] *knitting machines		supplies
152	*紡績機械; *spining machinery		.1 押え金(2)
153	*carding machines	EY3	
154	*twisting machines	300	[保存, 補修のための設備, 機器一般]
157	*leather-machinery	301	[戸棚, 物入れなど] *clothes closets
158	*drying apparatus; clothes dryers	305	ハンガー(2)
170	[計測機器] 織密度計(1)	320	*laundry machinery; *washing machines
180	*jewellers' supplies		
181	*barber's supplies	321	洗剤(5); *洗淨剤; *washing powders; 合成洗剤(1); *合成洗淨剤
EY2			
201	*patternmaking machinery	322	陰イオン界面活性剤(1); *界面活性剤
202	原型(2); 型紙(14)	330	*clothes moths
205	人台(6)	340	[くつ墨—bootblacks など]
210	シルエッター(7)	EY4	
240	ミシン(22); 家庭用ミシン(1); スラントミシン(1); *ミシン; *sewing-machines; *sewing-equipment and	400	工場(11); *textile factories
		410	*sewing-machine industry
		411	392 machine industry

各概念につづく()中の数字は、〈衣料情報レビュー〉No. 1-10 掲載論文の、タイトル中での出現数。出現数2以上のもののみ。出現数1は、著者提出のキーワードによるもの。概念別先頭に○印のあるものは、その概念群がユニターム検索のためだけに用いられることを示す。[]内はアスペクト。*印につづく日本語概念は、主として国会図書館件名標目表にもとづく。*印につづく欧文概念は、主として LC Subject Headings にもとづく。◎印につづく欧文概念は costume index にもとづく。概念別末尾ボールド数字は、OCM であるが、29~31項については、原則として標数のみを記した。